

令和2年度使用小学校用教科用図書

専門員調査研究報告書

令和元年8月8日（木）

埼玉県第四採択地区教科用図書採択協議会

目次

国語	1 ~ 4
書写	5 ~ 9
社会	1 1 ~ 1 3
地図	1 5 ~ 1 6
算数	1 7 ~ 2 2
理科	2 3 ~ 2 7
生活	2 9 ~ 3 5
音楽	3 7 ~ 3 8
図画工作	3 9 ~ 4 0
家庭	4 1 ~ 4 2
保健	4 3 ~ 4 7
英語	4 9 ~ 5 5
道徳	5 7 ~ 6 4

種目（国語）

<p>書名 項目</p>	<p>新しい国語</p>	<p>2 東書</p>
<p>内容</p>	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○「ことばあつめ」を設け、文の中で使う学習を通じて、言葉の特徴や使い方についての理解を深めながら語彙を広げられるよう工夫されている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○「書き手の意図を考えよう」「反対の立場を考えて意見文を書こう」など、自ら多様な視点で物事を考え、相手にその考えを表現し伝えることをねらいとする単元が設定され、書くことに興味をもたせるような工夫がある。</p> <p>○単元全体の中心的な課題となる「単元の問い」を提示し、解決に取り組む課題を明確にするとともに、思考・判断を促す発問や「言葉の力の問い」を設けている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○最初に、がんばりたいことやできるようになりたいことを考える場面があり、意欲的に学びに向かえるようになっている。</p> <p><言語感覚を養うための工夫> ○特殊音節についてリズム打ちなど視覚化と動作化を取り入れて、音と文字との関係が体感的に捉えられるよう工夫されている。</p> <p>○昔から伝わる言葉の言い回しや言葉の変化を取り上げ、日本語の美しさ、豊かさにもふれることのできる言語活動を設定している。</p> <p><読書に親しむ態度の育成を通し、読書習慣を形成するための工夫> ○「本は友達」の中で先人の読書コラムが扱われており、読書生活のモデルを学ぶことができ、読書に対する意識を高めている。</p>	
<p>資料</p>	<p>○単元の初めに「何を学ぶか」という解決に取り組む課題を明確にするページが設けられており、既習の「話す・聞く」「書く」「読む」の学習内容を、いつでも振り返ることができる。</p> <p>○写真やイラストだけでなく、円グラフや年表等も資料として用いられており、比較検討するための資料が多く掲載されている。</p>	
<p>表記・表現</p>	<p>○「感想」という語ではなく、「考えたこと」という語を用いることにより、児童の深い学びを促している。</p> <p>○児童に注目させたいポイントが枠で囲まれており着目しやすく、文章も学年に応じた的確で簡潔になっており、わかりやすい表現がされている。</p>	
<p>総括</p>	<p>○国語の学習を通して、「何ができるようになるか」を児童自身が理解できるよう「言葉の力」としてわかりやすく示すとともに、「つかむ」「取り組む」「ふり返る」と学習の手順がしっかりと構築されているので、児童が見通しをもって学習に取り組み、学びの成果を確認することができる。</p> <p>○複数の資料を比較・検討しながら話し合うことで思考力や表現力を育んだり、実用的な教材で目的や意図に応じた表現を学んだりすることができる。</p>	

種目（国語）

<p>書名 項目</p>	<p>みんなと学ぶ 小学校 国語</p>	<p>11 学 図</p>
<p>内 容</p>	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○原稿用紙の使い方がわかりやすく説明されており、推敲の仕方も読み返して付け加えたり訂正したりするなど丁寧に説明されている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○コミュニケーションに必要な「話すこと」や「書くこと」について、自分の考えや思いを伝える「相手」を意識した学習内容が構成されている。「話す・聞く」は「話す」「聞く」「コミュニケーション」と分けて学習のねらいを明確にしている。 ○因果関係を考える文章や自分の考え形成する活動においてKJ法やマッピングなどの思考ツールを取り上げ、論理的思考を育むための学習内容となっている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○「国語のカギ」が単元の最後や資料に示されており、国語で学ぶ大切な事柄を確かめたり、学習に生かしたりできるよう工夫されている。</p> <p><言語感覚を養うための工夫> ○季節のうつろいを感じ、俳句や短歌、詩などで表現することで、特有の言葉遣いや表現方法を学び、日本古来の豊かな表現や感性を育めるよう工夫されている。 ○生活の中で見つけた言葉や出来事を書きためる活動が年間を通して位置づけられ、日常生活の中で使える語彙を増やしていく工夫がされている。</p> <p><読書に親しむ態度の育成を通し、読書習慣を形成するための工夫> ○ポップ作りやブックトークなどの活動が位置づけられており、読書に親しむ機会を通して、進んで読書に向かう態度の育成を図っている。</p>	
<p>資 料</p>	<p>○「授業で使う言葉」では、教科書で使われている重要な言葉（事例、要約など）をわかりやすく解説しており、「国語のカギ」では、「話すこと」「聞くこと」「書くこと」「読むこと」に分けてポイントを説明している。 ○文章は同じでも挿絵によって伝わる様子が変わること、同じ題材を違う視点から見る教材など多角的なものの見方を養う工夫をしている。</p>	
<p>表記・表現</p>	<p>○「新しく出た漢字▲」「新しく習う読み方△」「特別な読み方△△」「辞書で意味調べ◎」のように、ページの下に印があり学習しやすい。 ○新聞記事などを用いているため難しい言葉もあるが、ふり仮名がふってあったり児童の興味を引く写真が掲載してあったりするので、内容がわかりやすい。</p>	
<p>総 括</p>	<p>○「学習の見通しをもとう」では複数ページで展開する活動の概要を一覧で提示し、学びの見通しをもつことができるようになっている。巻末の資料も充実しており、さまざまな活動の際の資料として活用することができる。 ○生活に根ざした単元が多く必然性をもって学習に取り組むことができ、児童のモデルとなる文章例も多く提示されているので、学習活動のゴールをイメージしやすく、見通しをもって学習に取り組むことができる。</p>	

種目（国語）

<p>書名 項目</p>	<p>ひろがる言葉 小学国語</p>	<p>17 教出</p>
<p>内容</p>	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○情報の扱い方を身につけるために、「言葉のまとめ」に原因と結果の述べ方を説明文で示し、巻末では文型として提示している。 <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○自分の考えを相手に伝えるために多種多様な情報から自分の話す内容の根拠となる資料を探し出し、伝えたいことの原因や根拠をはっきりさせて意見文等を書いたり話し合ったりする活動が位置づけられている。 ○日記、リーフレット、発表報告、パネルディスカッション等の言語活動で、内容を精査したり、グループで話し合ったりする時間が確保されている。 <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○多方面からのアプローチがあり、国語学習の入口が多く、児童の興味関心を高めるとともに、国語の学習の意味を理解できるよう工夫されている。 <言語感覚を養うための工夫> ○児童の言語感覚を養うため、平安時代以降の文章（枕草紙等）や江戸時代以降を生きた先人の短歌にふれさせる活動を設定している。 ○巻末の「言葉のまとめ」に、学習した言葉について日常生活で使用する例文を紹介することで、実際の生活に生かすことができるよう工夫している。 <読書に親しむ態度の育成を通し、読書習慣を形成するための工夫> ○図書館の利用の仕方についてわかりやすく示されており、低学年では実際に司書にたずねる場面がイラストで示されている。</p>	
<p>資料</p>	<p>○教科書の冒頭に、1年間の学習が記載され見通しをもって取り組むことができ、「ここが大事」で学びが焦点化され、学習のポイントが捉えやすくなっている。また、スタートアップカリキュラムが児童の自由な発想を促す内容である。 ○さまざまな分野からの文章が掲載されており、児童の興味関心や知的好奇心を高めることができる。</p>	
<p>表記・表現</p>	<p>○五十音の学習では、色での見分け、形での見分けができるようになっている。字の大きさを変えることで児童が声の大きさを変えることができるようになっている。 ○「読むこと」の教材は、写真や挿絵が多く、児童がイメージをふくらませやすくなるよう工夫されている。</p>	
<p>総括</p>	<p>○「たしかめよう」「考えよう」「ふかめよう」「広げよう」の4ステップの学習過程が示され、児童が見通しをもって学習に取り組むことができる。また、「対話的モデル」が示されており、児童の主體的・対話的な学びを促すことができる。 ○「読むこと」の單元には、單元とびらのページがあり、学習の目標が明確に書かれており、「ふり返ろう」とあわせて児童は自分の学びの状況を自己評価することができ、学習意欲を高めることができる。</p>	

種目（国語）

<p>書名 項目</p>	<p>国語 かざぐるま ともだち たんぽぽ 赤とんぼ わかば あおぞら かがやき はばたき 銀河 創造</p>	<p>38 光村</p>
<p>内容</p>	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○「考えるときに使おう」など、情報の扱い方に特化した教材が設定されており、理解や表現をともなった場面で習得できるよう構成されている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○学級外の人へのインタビューをする際の言葉遣いを学ぶ活動が設定されている。「きちんと伝えるために」「話し方や聞き方から伝わること」など口頭表現に特化した「コミュニケーションコラム」を設定している。</p> <p>○「情報教材」と関連させ、「情報」で扱う「引用」などの技能を「書くこと」で活用できる学習を設定している。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○話し合ったり助言し合ったりする場面を意図的につくり、人と人との関係の中で、問題解決を図ろうとする力を育成できるよう工夫されている。</p> <p><言語感覚を養うための工夫> ○話し言葉と書き言葉、現代使われている言葉と江戸時代以降の言葉や外来語、共通語と方言などの学習がバランスよく設定されている。</p> <p>○「統計資料の読み方」「意見が対立したときには」「新聞を読もう」など、学習や日常生活場面などを題材に児童が必然性をもって学習できるよう工夫されている。</p> <p><読書に親しむ態度の育成を通し、読書習慣を形成するための工夫> ○学年の初めに図書館活用についての学習が設定され、実際の図書館や展示コーナーの写真が掲載され読書活動への意欲が高められている。</p>	
<p>資料</p>	<p>○教科書の初めに「国語の学びを見わたそう」という1年間で学習する「教材」「たいせつ」「学習用語」などを一覧できるページがあり、「どう学ぶのか」「何の力をつけるのか」を確認しながら学習することができる。</p> <p>○さまざまな表やマップ、写真などの資料が本文の内容に添って掲載されており、考えを形成する際の資料として活用することができる。</p>	
<p>表記・表現</p>	<p>○重要な部分は太字になっていたり、さまざまな種類の枠で囲んであったりして、理解しやすくなっている。</p> <p>○高学年でもほとんどのページに写真や挿絵、グラフや表があり、高学年児童の興味関心を引くようにつくられている。</p>	
<p>総括</p>	<p>○「ねらい」「見通し」「振り返り」の学習の流れが明確であり、児童が何を、何のために、どう学ぶのかを意識しながら学習に取り組むことができる。</p> <p>○俳句、短歌、その他の文章を書く活動が多く設定されているが、実用性や必然性を考慮した活動となっている。コミュニケーションについては、聞くことに力点がおかれており、他教科等の学習でも活用できる国語の力を身に付けることができる。21世紀型スキルの育成を目指した内容となっている。</p>	

種目（書写）

<p>書名</p> <p>項目</p>	<p>新しい 書写</p>	<p>2</p> <p>東 書</p>
<p>内 容</p>	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <p>○「びた」「ぴょん」「すうっ」など書き方が音で記されているため、児童が技能を習得する際の手助けとなっている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <p>○ポスターやリーフレットなど、書写で学んだ技能をさまざまな表現方法で生かすことができるよう教材が工夫されている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <p>○普段の学習や日常生活に広げようとする課題があり、書写の学習がどう役立つのか、何に生かせるのかを考えさせる内容となっている。</p> <p><毛筆と硬筆との関連></p> <p>○「書写のかぎ」で課題を見つけ、毛筆で書くことでポイントを認識し、さらに硬筆で書くという、毛筆で書くことが硬筆で書く力の基礎となるよう構成されている。</p> <p><各教科や日常生活との関わり></p> <p>○総合的な学習の時間や社会科で学習内容を新聞に書く活動や委員会のリーフレット作成、インタビューメモ作成の流れがわかりやすく説明されている。</p>	
<p>資 料</p>	<p>○前学年までで学習する書写のポイントがわかりやすく説明されている「書写のかぎ」が巻末に掲載されており、既習事項を確認することができる。</p> <p>○カラーの部分は淡い色合いで統一されており、黒の濃さが目立つようなデザインになっており、写真資料も多く見やすい。</p>	
<p>表記・表現</p>	<p>○運筆の説明や姿勢の正し方などを音声で伝えるなど、独自の説明の仕方で誰にでもわかりやすい説明となっている。</p> <p>○点画を分解し、それぞれ色を変えることで、どこまでを一筆で書くものなのかを理解しやすくしている。</p>	
<p>総 括</p>	<p>○大事なことが一目でわかるように、イラストや図版に使う色の数や分量を考え、情報を整理したユニバーサルデザインを意識した紙面となっている。「見つけよう」「確かめよう」「生かそう」「振り返って話そう」「広げよう」という学習の流れにより、課題発見・課題解決、協働的な学び、習得した知識・技能の生活での活用まで、主体的に学習に取り組み、思考力・判断力・表現力を身につけ、学習内容を習得し、活用することができるようになっている。</p>	

種目（書写）

<p>書名</p> <p>項目</p>	<p>みんなと学ぶ 小学校書写</p>	<p>11</p> <p>学 図</p>
<p>内 容</p>	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <p>○教科書に書き込むことのできるページが多く、実際に文字を書く活動の時間を確保することができる。鉛筆で書きやすい紙質で作られている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <p>○学習の流れの中に、「生かして書こう」という学習内容を生かして手本とは別の文字や言葉、文章を書くという活動を設定している。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <p>○「確かめて書こう」では、キャラクターがヒントや着眼点をセリフの中に示すことで、児童が主体的に課題を発見し解決していけるよう工夫されている。</p> <p><毛筆と硬筆との関連></p> <p>○「生かして書こう」では、毛筆で学習した文字の書き方のポイントをすぐに硬筆で書けるように学習が進められている。</p> <p><各教科や日常生活との関わり></p> <p>○自分の好きなことわざ、自分の好きな歌詞を書くなど、学んだことを生かして楽しく書く活動が設定されており、学びが日常生活に生かせるよう工夫されている。</p>	
<p>資 料</p>	<p>○「えんぴつ先生」「筆じい先生」「子供4人」のキャラクターが登場させることで、児童の興味関心や学習の意欲を高める工夫をしている。</p> <p>○硬筆の教材文字と書き込み欄について上下に配置されており、きき手を問わず手本の文字が隠れずに練習できるようになっている。</p>	
<p>表記・表現</p>	<p>○グラデーションになっている朱書き文字が掲載されており、穂先の方向や力の入れ方がわかりやすく表記されている。</p> <p>○文字のバランスや中心線を赤のラインで可視化することで、ポイントを強く意識して文字を書くことができるよう工夫されている。</p>	
<p>総 括</p>	<p>○「書き方のかぎ」を確かめることによって文字の書き方のポイントがすぐにわかり、そのポイントを生かして自らの課題を発見したり他者と話し合いをしたりすることができる。さまざまなキャラクターが登場したり、丸いフォントが使われていたり、児童に優しい印象をあたえるつくりになっている。手本が原寸大で使いやすいものになっている。</p>	

種目（書写）

<div style="text-align: right;">書名</div> <div style="text-align: left;">項目</div>	<p>小学 書写</p>	<p style="text-align: center;">17 教出</p>
<p style="text-align: center;">内 容</p>	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○「とんっ」「すう」「ぴたっ」など、運筆のポイントがキーワード化されており、文字を書く際に意識すべきことがわかりやすく示されている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○年賀状、はがき、ポスターが数パターン紹介されており、どのパターンが伝わる相手にふさわしいか考えたり、表現方法の善し悪しを判断したりすることができる。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○課題選択教材を設けることで、児童自らの課題解決に向けて主体的に取り組める構成になっている。</p> <p><毛筆と硬筆との関連> ○学習の始めと終わりに「ためし書き」「まとめ書き」として硬筆練習をする活動が設定されており、毎時間硬筆と毛筆の関連が意識できるよう工夫されている。</p> <p><各教科や日常生活との関わり> ○各教科に関わる内容についてのコラムを掲載し、あわせてめあても示すことで、どの教科のどの場面で生かすのかがわかりやすい工夫がされている。</p>	
<p style="text-align: center;">資 料</p>	<p>○写真や会話場面を掲載することで、姿勢も含めて可視化され、児童が活動のイメージをもちやすくなり、抵抗感を持つことなく学習に取り組むことができる。</p> <p>○コラムに写真が多く、学習すべき内容に取り組むページには比較的写真やイラストが少なく、集中して学習に取り組めるよう工夫されている。</p>	
<p style="text-align: center;">表記・表現</p>	<p>○文字の形を三角や四角で表記することで、目で見て字体をとらえやすくなるように工夫されている。</p> <p>○運筆の様子が伝わるように、具体的な言葉と穂先の動きを朱書きで示したイラストでわかりやすく示されている。</p>	
<p style="text-align: center;">総 括</p>	<p>○「ためし書き」と「まとめ書き」の活動が設定されていたり作品について伝え合う活動が設定されていたりと、毛筆の学習に関連付けて工夫されたさまざまな活動が設定されている。書写の学びを「ノート作成」「各種手紙」「古文の試写」などに広げるなど、各教科等の学習や日常生活での活用を図れるように学習内容が構成されている。巻末の漢字表には画数が表記されていたり、ポイントとなるキーワードがわかりやすく示されていたりと児童が取り組みやすい工夫がされている。</p>	

種目（書写）

<p>書名</p> <p>項目</p>	<p>書写</p>	<p>38</p> <p>光村</p>
<p>内容</p>	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <p>○鉛筆の持ち方、紙のおさえ方が原寸大のイラストで示したり、腕を大きく動かして文字を書く空書きを行うことで「点画の書き方」への理解を深めたりしている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <p>○新聞作成や手紙の書き方など相手を意識した書き方を考えたり、ポスターやしおりについて複数例から見やすさの違いの要因を考えたりする学習が設定されている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <p>○学習のねらいやまとめ、学習の進め方が示されており、児童が見通しをもって学習を進めることができるような工夫がされている。</p> <p><毛筆と硬筆との関連></p> <p>○1 ページの中に「毛筆で書いてみよう」「鉛筆で書いてみよう」があり、毛筆で学習したことを硬筆で活用できるか確認する活動が設定されている。</p> <p><各教科や日常生活との関わり></p> <p>○インタビューメモの書き方、原稿用紙の使い方、新聞作成、英語で書くなど、各教科や日常生活で生かせる内容がわかりやすく示されている。</p>	
<p>資料</p>	<p>○読みやすいものと読みにくいものが並列して示されていたり、赤字と黒字を重ねて示していたりと、差や違いに意識が向き思考を促す工夫がされている。</p> <p>○穂先の方向を示した写真資料が多く掲載されているので、児童がその資料と手本を見ながら運筆しやすいよう工夫されている。</p>	
<p>表記・表現</p>	<p>○ねらいとする文字のフォントを変えたり注意事項を朱書きにしたりするなど、見てわかりやすい説明となるよう工夫されている。</p> <p>○グラデーションになっている朱書き文字が掲載されており、穂先の方向や力の入れ方がわかりやすく示されている。</p>	
<p>総括</p>	<p>○3つの段階を踏んだ活動の流れが示されていたり、「たいせつ」が全単元で同じ場所に示されていたりと、児童が主体的に活動に取り組みやすい工夫がされている。また、単元ごとに色分けしたり、「ななめほさきちゃん」などのキャラクターを用いたりなど児童が楽しく学習に取り組むことができるような工夫もされている。文字よりもイラストが多く誰にでもわかりやすくなるようユニバーサルデザインを意識した紙面となっている。</p>	

種目（書写）

<p>書名</p> <p>項目</p>	<p>小学書写</p>	<p>116</p> <p>日 文</p>
<p>内 容</p>	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <p>○「すうっ」などの音による表現やイラストを用いて運筆のイメージ、鉛筆の持ち方、筆の置き方をわかりやすく伝えている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <p>○各教材の「めあて」と「できたかな」は、その内容が明確化・焦点化された表現になっており、児童自らが学習の振り返りをできるように工夫されている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <p>○巻頭に学習の進め方が示されており、児童が見通しをもって学習を進めることができるような構成となっている。</p> <p><毛筆と硬筆との関連></p> <p>○毛筆と硬筆の活動が交互に設けられており、「いかす」では毛筆で学習したことを硬筆で生かせるような課題が設定されている。</p> <p><各教科や日常生活との関わり></p> <p>○便箋、封筒、はがき、ポスター、新聞の書き方など、学習や日常生活で書写の学習を生かせる題材が取り上げられている。</p>	
<p>資 料</p>	<p>○振り返りの「できたかな」で、自分の課題やめあてを振り返るチェック欄が設けられており、課題意識や学習意欲を高められるようになっている。</p> <p>○左ページの原寸大資料を確認しながら、右ページの学習のポイントを確認できるような紙面の構成になっている。</p>	
<p>表記・表現</p>	<p>○隣り合う色の間に白い線を入れたり、補助線や矢印の形状に配慮したりして、児童が情報を識別しやすいようにしている。</p> <p>○字形を理解するための配色は明度に変化がつけられているなど、配色、形、大きさ、太さの違いをつけ、見てわかる説明の仕方を工夫している。</p>	
<p>総 括</p>	<p>○「考える」「確かめる」「いかす」という3つのステップを踏んで学習内容が身につくように学習の流れが組まれている。また、「国語の広場」や「生活と書写」といった資料が巻末にまとめられていたり、イラストの分量を考えたりするなど学習を進める上で思考の整理がしやすいように工夫がされている。漢字を部首や部分に分け、字形をどう整えるか、大きさのバランスはどうかをわかりやすく説明し、学習内容がイメージしやすい。</p>	

種目（ 社 会 ）

<p>項目</p>	<p>書名 新しい社会</p>	<p>2 東 書</p>
<p>内 容</p>	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○学習場面に応じた学び方を「まなび方コーナー」で例示し、系統的に調査・資料活用 の技能を身に付けられるようにしている。 ○重要語句を「ことば」として欄外に特別な枠を設けて解説しており、学習内容の理 解を深め、知識の習得が図られるようにしている。 <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○「フローチャート」や「関係図」などで、まとめる活動が設定され、考えたことや 選択・判断したことを適切に表現できるような工夫がされている。 ○「関連」「総合」等の思考ツールが巻末に掲載され、児童が自分の思考を整理し、 選択、判断を促す工夫が見られる。 <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○社会参画の視点を明確にし、適切に「いかす」学習過程を設定しており、地域社会 の一員としての自覚や国民としての自覚を養うための工夫がみられる。 ○全単元で、「つかむ」「調べる」「まとめる」（「いかす」）学習過程で単元構成 されており、児童が見通しをもって学習できるよう工夫されている。 <学習問題を追究し解決する活動の充実を図るための工夫> ○学習問題を立てる場面では、登場人物が話し合っている様子から疑問を引き出し、 学習問題を立てることができるような流れを例として示している。</p>	
<p>資 料</p>	<p>○D（デジタル）マークを示している箇所では、QRコードを読み取ることで、デジタ ルコンテンツにつながるようになっている。 ○児童の疑問や興味関心を喚起するよう、活用できる写真やイラストなど多様な資料 が示されている。 ○「我が国の政治の働き」の単元では、埼玉県川口市の児童センター「あすばる」が 事例として掲載されている。</p>	
<p>表記・表現</p>	<p>○カラーバリアフリーに配慮し、地図やグラフなど色だけでなく、模様や形、線の種 類などでも比較できるようにしている。 ○重要語句・学習用語を「ことば」として欄外に枠を設け、解説を付けている。</p>	
<p>総 括</p>	<p>○「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」の問題解決的な学習過程が明確に位 置付けられている。 ○多様な表現活動に取り組むことができるよう、学習のまとめ方、表現の仕方の事例 が豊富に示されている。</p>	

種目（ 社 会 ）

<p>書名 項目</p>	<p>小学社会</p>	<p>17 教出</p>
<p>内 容</p>	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○「まとめる」場面では、学習問題や小単元での大事なキーワードを再度提示し、学習のまとめや問題解決に知識を活用し、習得を図れるようにしている。 ○「学びのてびき」において、発達段階に応じて身に付けさせたい技能を提示し、活用を通して習得を図ることができるよう工夫されている。 <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○「次につなげよう」のコーナーが設定されており、思考の連続や深まりを促すよう工夫されている。 ○発達段階に応じて、マップ、標語、意見文等の多様な思考のまとめ方や、表現方法が例示されている。 <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○巻頭に「社会科の学習の進め方」を掲載し、社会科の学習の進め方を理解し、主体的に学習に取り組むことができるようにしている。 ○「他地域や外国との関わり」に係る資料が提示され、「世界の国々の人々と共に生きていくことの大切さについての自覚」を養うための工夫がみられる。 <学習問題を追究し解決する活動の充実を図るための工夫> ○「ひろげる」では、他地域の事例などを示し、社会的事象についてさらに追究できるよう工夫されている。</p>	
<p>資 料</p>	<p>○「まなびリンク」のQRコードやURL等のインターネットを活用した教材が示されている。 ○学習課題に即した視点や方法を引き出しやすいように配慮された地図や写真資料を用いている。 ○「県内の伝統や文化、先人の働き」の単元では、埼玉県の「井沢弥惣兵衛」が事例として取り上げられている。</p>	
<p>表記・表現</p>	<p>○ユニバーサルデザインフォントを使用し、障害を持っている児童にも読みやすいように配慮している。 ○単元や学習問題での重要な語句を「キーワード」として取り上げている。</p>	
<p>総 括</p>	<p>○巻頭で前学年、巻末で1年間の学習内容の振り返りが明示され、系統的な指導ができるよう配慮している。 ○用語やこれまで得た知識を簡単に振り返り、習得が図れるような工夫がなされている。</p>	

種目（ 社 会 ）

<p>書名 項目</p>	<p>小学社会</p>	<p>116 日 文</p>
<p>内 容</p>	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○「学び方・調べ方コーナー」で観察・資料活用・表現など3つの視点を取り上げ、調整及び資料活用の技能の定着を図るようにしている。 ○「キーワード」「むずかしいことば」で学習用語を取り上げ、理解を深め知識の習得が図られるようにしている。 <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○「見方・考え方コーナー」を設定し、社会的な見方・考え方を生かして学習問題をつくり上げる構成の工夫がされている。 ○「白地図への記入のしかた」等、調べたことや考えたことを児童が表現しやすいよう例示がされている。 <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○「わたしたちの学びを生かそう」において、単元の学習内容をさらに深める学習を例示し、社会に見られる課題の解決に向けて思考・判断できるよう工夫している。 ○「さらに考えさせたい問題」を設定し、単元の学習内容を広げ、「地域社会の一員としての自覚」を養うための工夫がみられる。 <学習問題を追究し解決する活動の充実を図るための工夫> ○登場人物の話合いの中から疑問が浮かび、学習問題につながるような問題設定の流れが例示されている。</p>	
<p>資 料</p>	<p>○「デジタルマーク」により、画像・動画・Webサイトへのリンクが示され、デジタルコンテンツにつながるようになっている。 ○選択単元が複数示されており、地域の実情に応じて、単元を選択できるよう配慮されている。 ○「市の様子の変り変わり」の単元では、「川越の交通」が事例として取り上げられている。</p>	
<p>表記・表現</p>	<p>○カラーユニバーサルデザインに対応し、グラフや地図、図表においては色合いや色の組み合わせだけでなく、斜線やドット等を用いることで区別しやすくしている。 ○「キーワード」により学習用語を、「むずかしいことば」で語句を解説している</p>	
<p>総 括</p>	<p>○事例が多数掲載されており、地域の実情に応じて、単元を選択できるようになっている。 ○児童が社会的事象について問いをもちやすいよう、見方・考え方が適切に明記されている。</p>	

種目（地 図）

項目	書名	2 東 書
内 容	<p>＜知識及び技能が習得できるようにするための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「さがしてみよう」「なぞってみよう」「くらべてみよう」等の課題提示がされており、作業を通して地図の基本的な知識・技能を身に付けることができよう工夫されている。 ○地球儀の取扱いは、写真を用いることで、実物と確かめながら活動ができるよう工夫されている。 <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○歴史的分野に係るページでは、その当時の周辺の国の様子や船舶の行き来の様子など、時代ごとの世界とのかかわりが表記されており、「位置や空間的な広がり」の視点から歴史的事象の因果関係を考えることができるよう工夫されている。 <p>＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ほぼ全てのページにおいて、登場人物の吹き出しの台詞によって、児童が主体的に調べたり、考えたりすることができるよう工夫されている。 ○世界の地図では、陸地だけでなく海洋で特徴的な生き物について絵で示されており、世界の様子を視覚的に捉え、地図に親しむ工夫がされている。 <p>＜地図・統計等資料の特徴＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○国土地理院発行の100万分の1の地図をはじめ、資料図や統計についても最新データを収集して掲載している。 ○日本と世界の統計資料について、6ページにわたり掲載されている。 	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ○「真上から見た図」「斜め上から見た図」や絵地図と地図を比較する資料を設け、発達段階に即した活用ができるよう配慮されている。 ○索引は五十音順で、地名の種類を表す記号が示され、赤黒の2色で表記している。また、チェック欄を設けている。 	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○日本の地域地図については、各地方に1つ程度、拡大図を設けている。また、その地図が全体のどの辺りなのかを示している。 ○土地利用の様子が、主に8色で示されている。 	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> ○後半の資料のページでは、産業、外国との関わり、歴史、自然災害など、多様な情報が多く掲載されている。 ○3年生から6年生までの児童の発達段階に応じた使い方ができるように、内容構成が工夫されている。 	

種目（地 図）

項目	書名 教科書名(16pt)	4 6 帝 国
内 容	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「地図のやくそく」では、「トライ」という項目において、作業的な学習を通して、地図活用のための基本的な技能・知識を、身に付けることができるよう工夫されている。 ○地球儀の取扱いについては、地球儀の特徴や扱う際の手順について明確に示されている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○歴史的分野に係るページでは、文化遺産の分布が表記されており、年表を参照しながら地図上で確認し、「位置や空間的な広がり」の視点から歴史的事象の因果関係を考えることができるよう工夫されている。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「地図マスターへの道」という問いを設け、児童自ら地図に親しみ、達成感が得られるよう工夫されている。 ○世界各国の地図に「集まれ世界の子どもたち」のコーナーがあり、事例地の特徴を紹介するなど、地図に親しむ工夫がされている。 <p><地図・統計等資料の特徴></p> <ul style="list-style-type: none"> ○国土地理院発行の100万分の1の地図をはじめ、資料図や統計についても最新データを収集して掲載している。 ○日本の統計資料では、項目ごとに色分けし、掲載されている。 	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ○「広く見渡す地図」を設定し、発達段階に即して簡略に各地方の地形や特色に気付くことができるよう工夫されている。 ○索引は五十音順で、地名の種類を表す記号が示され、4色で表記されている。また、ページ数を太字で表記している。 	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○日本の地域地図については、各地方に2～3程度、主要都市を中心とした拡大図を設けている。 ○土地利用の様子が6～8色で示されており、「田」などの地図記号が使われている。 	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> ○後半の資料のページでは、産業、外国との関わり、歴史、自然災害など、多くの情報が内容ごとに整理され掲載されている。 ○「地図マスターへの道」、「トライ」等の課題を通して、児童が主体的に地図帳を活用するような工夫がされている。 	

種目（算数）

<p>書名</p> <p>項目</p>	<p>新しい算数</p>	<p>2</p> <p>東書</p>
<p>内容</p>	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <p>○単元の初めには、既習の内容（考え方を含む）を確認できるページがある。個に応じた教材が充実している。補充の問題が全単元に設定されていて、習熟度に応じて取り組めるようになっている。「たしかめよう」のページでは、問題に対応したページ・問題番号が記されている。また、理解の確認が確実にできるよう問題ごとにチェック欄があり、繰り返し問題に取り組むことができる。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <p>○学年の段階を追って系統的に、テープ図、線分図、数直線図等、図を用いて問題解決できるように構成されている。「今日の深い学び」では、望ましい数学的活動を分かりやすく可視化している。また、児童が自分の考えを伝え合う様子や、話し合う観点を例示することによって、児童が考察したり統合的・発展的に考察したりする力を育成するよう工夫されている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <p>○単元全体の振り返りの欄がある。キャラクターの吹き出しにモデルとなる姿の例示がある。単元の終末に「いかしてみよう」コーナーが設定され、学習したことを日常の場面で生かす問題が設定されている。また、巻末の「おもしろ問題にチャレンジ」では、学習したことをさらに活用し、児童が楽しみながら問題に取り組めるように工夫している。</p> <p><数学的活動を充実させるための工夫></p> <p>○単元の初めのページでは日常に即した問題を写真やイラスト等で示すことにより、問題意識・課題意識をもって取り組みやすいように工夫されている。</p> <p>○ページの下部に、学習を振り返り、新たな問いを見つけたり発展的に考えたりする児童の姿を例示している。</p> <p>○つまずいた時に、巻末に既習事項がまとめられている。また、それぞれの問題で、どの既習事項を活用すればよいか示されている。</p> <p>○複数の考え方が予想される問題では、児童の考え方や伝え合う様子が具体的に示され、話し合う活動に活用できるようになっている。</p>	
<p>資料</p>	<p>○実生活との関連を図るため、身近な内容や社会・自然の事象が絵や写真により取り上げられている。</p> <p>○キャラクターの吹き出しや補助発問が必要に応じて設けられている。</p> <p>○児童が必要感をもつような場面を例示し、データを集計したい、分析したいと思えるような問題設定となっている。</p>	
<p>表記・表現</p>	<p>○読みやすい位置で改行している。</p> <p>○問題文とまとめの文を枠で囲むなど着目しやすくしている。</p> <p>○新出の算数用語は、太字に加え、波線をつけている。</p> <p>○本文の書体は、太さの強弱をおさえたUDフォントを使用している。</p>	
<p>総括</p>	<p>○児童の吹き出しが多く用いられ、問題に対する新たな問いや統合的・発展的な気付き等促す工夫がされている。</p> <p>○ブロックなどの具体物を無理なく置くことができ、書き込むマスを市販のノートと同じサイズにし、入学当初の学習をしやすくしている。</p> <p>○デジタルコンテンツを活用したプログラミング体験もできる。</p>	

種目（算数）

<p>書名</p> <p>項目</p>	<p>たのしい算数</p>	<p>4</p> <p>大日本</p>
<p>内 容</p>	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <p>○日常の事象を数理的に処理する技能が身に付くよう、デジタルコンテンツが豊富に取り入れられている。「たしかめ問題」では、基礎基本の再確認、習熟度に応じた指導ができ、振り返りのページが記載されている。また、問題を精選できるようページ番号の色を工夫している。一単位時間における知識・技能を確実に身に付けるために、十分な量の適応問題を確保している。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <p>○学力調査等で課題とされている学習を活用する力、長文や統計資料から情報を読み取る力、根拠を説明する表現力を育成するために、「読み取る力をのぼそう」が設定されている。児童が、思考を整理し、表現するために活用しやすいよう、巻末にテープ図、数直線図のかき方が順序立てて示されている。「ふりかえろう」では、学習感想を書くときに参考になる文章が掲載されている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <p>○算数の面白い問題や話、キャリア教育にも使えるお仕事インタビューなど、様々なコラム「ふくろう先生なるほど算数教室」が掲載されている。主体的に学びを進めることができるように、学び方が記載されている。単元末の「たしかめ問題」では、各問題において、児童自身が解き方を振り返るためのフィードバックマークを付けている。</p> <p><数学的活動を充実させるための工夫></p> <p>○単元の初めのページでは、児童の生活に密着した日常の事象を取り上げ、児童の興味関心を喚起する問題や必要感をもたせた課題を工夫している。</p> <p>○課題や練習問題の近くの場所に、教科書に登場するキャラクターが発展的に考える様子や新しい問題を見出す様子を例示している。</p> <p>○教科書の巻頭では、学習の流れをサイクル状に提示し、発展的な問題解決学習を支援するための「算数まなびナビ」が設定されている。</p> <p>○様々なページで図や式、表やグラフに表すよさが分かるようになっている。また、それらを用いて、数学的に表現できるようになっている。</p>	
<p>資 料</p>	<p>○実生活との関連を図るため、身近な内容や社会・自然の事象が絵や写真により取り上げられている。</p> <p>○グラフの色だけでなく、模様も変えることで、判別しやすくしている。</p> <p>○身近な生活場面における問題や疑問を扱い、統計で問題解決する必要感をもたせている。統計的探究プロセスを図式化した手順を示している。</p>	
<p>表記・表現</p>	<p>○読みやすい位置で改行している。</p> <p>○算数用語等一単位時間のまとめで赤と青の線で囲み、内容を強調している。</p> <p>○教科書で扱う用字・用語は、適宜ふりがなをつけている。</p> <p>○本文の書体は、太さの強弱をおさえたUDフォントを使用している。</p>	
<p>総 括</p>	<p>○ページの構成が問題解決型の過程に沿っていたり、教室場面のイラストや板書が多かったりと教師にとっても使いやすいつくりになっている。</p> <p>○各ページで獲得した見方・考え方をメモする「ひらめきアイテム集」によって、算数で大切な数学的な見方・考え方に焦点をあてる構成になっている。</p> <p>○5・6年生では「スクラッチ」を使ったプログラムづくりも示されている。</p>	

種目（算数）

<p>書名</p> <p>項目</p>	<p>みんなと学ぶ 小学校 算数</p>	<p>11</p> <p>学 図</p>
<p>内 容</p>	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <p>○単元の初めは、日常生活から見出した問題を解決できるよう、提示方法を工夫している。図形やグラフのかき方、筆算の仕方等スモールステップで丁寧に手順を説明している。また、児童の視点での写真を提示したり、鉛筆で数字を隠すイラストを用いたりして技能が習得できる工夫がされている。児童がつまずきやすい単元を2つに分けて、再度、学び直す機会を設定している。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <p>○数学的な見方・考え方が獲得できるように、特に重要だと考えられる9つの見方、考え方を9体のモンスターで表している。思考力・判断力・表現力を、「3つの学びの力」として、各学年の上巻の冒頭にまとめている。「つなげたいな」の欄では、次のページにつながるような発言の例示が示されており、新たな発見や深い理解が得られるようにしている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <p>○「ふりかえろう つなげよう」では、これまでの学習を振り返り、その類似性や共通点に気づき、学習を統合的に見るようにしている。ページ左側に「～したいな」という児童の視点での言葉があり、自ら学ぶ意欲を促している。主体的に学びを進められるよう学び方が記載されている。「学びを生かそう」では、学習を生活や発展的な学習につなげる児童のつづやきが提示されている。</p> <p><数学的活動を充実させるための工夫></p> <p>○日常生活など身近なことや算数の中から問題を発見することで、児童が新しい学習で自ら問題を見付け、見通しをもつことができるようにしている。</p> <p>○単元で学習したことを日常生活や社会で活用できるようにするための「深めよう」を設定している。</p> <p>○見通しをもって問題解決に取り組めるように、教科書の左部分に、問題に取り組む流れが示されている。</p> <p>○班やクラスで課題を解決していく「かつどう！アクティブ！」の問題が設定され、友達の様々な考えを読み取り、考えを共有する場面が設けられている。</p>	
<p>資 料</p>	<p>○実生活との関連を図るため、身近な内容や社会・自然の事象が絵や写真により、取り上げられている。</p> <p>○グラフの色だけでなく、模様も変えることで、判別しやすくしている。</p> <p>○統計データは、児童の身近なものを題材としている。グラフや表は書き込む場所が多いので、習熟が図れる。</p>	
<p>表記・表現</p>	<p>○読みやすい位置で改行している。</p> <p>○重要事項や紙面のポイントとなるところに色をつけている。</p> <p>○新出の算数用語や重要な項目は線で囲み、フォントも解説文と変えている。</p> <p>○写真、イラスト、図版、本文の記述などカラーバリアフリーになっている。</p>	
<p>総 括</p>	<p>○横に幅広い形で、教科書上での作業がしやすくなっている。また、めあてが児童の疑問に寄り添った文言である等、児童の自然な思考に沿っている。</p> <p>○算数の学習で重要だと考えられる9つの「見方・考え方」をモンスターで表し、どのような数学的な見方・考え方を働かせるか分かるよう工夫している。</p> <p>○プログラミングのページで実際に動かせる簡易サイトを用意している。</p>	

種目（算数）

<p>書名</p> <p>項目</p>	<p>小学算数</p>	<p>17</p> <p>教出</p>
<p>内 容</p>	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <p>○児童が間違えやすい問題を「考えるヒント」などを用い、ポイントを意識させている。巻末に前学年までの既習事項をまとめたページがあり、そのページへのリンクを参考にして児童がつまづいた時に、自身の力で学習に取り組めるようになっている。次の単元に関わる既習事項を確かめるページや知識・技能について、学年を越えてつなげる「学びのマップ」や「学びの手引き」が掲載されている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <p>○数学的な見方・考え方を働かせる言葉が整理され、類推、演繹的、帰納的などの考え方を使うための言葉の使い方が示されている。単元の初めの問題場面には、「どんな学習がはじまるかな？」というページがあり、児童が演算決定について考えられるようにしている。数学的な考え方や思考において必要となる言葉を太字で示し、児童の算数における言語活動の充実を図っている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <p>○授業開きのための特設教材が1年生の最初の学習に設定されている。友達と意見を交わしながら学び合える流れで意欲的に取り組めるよう工夫されている。振り返りの欄があり、表現のよさや次に考えてみたいこと等の例示が示されている。「学んだことを使おう」のページでは、児童の活用力を育むために、学んだことを使って問題を解決する活動を設定している。</p> <p><数学的活動を充実させるための工夫></p> <p>○単元の導入では、写真・イラストの活用やオリンピックといった現代的な話題の取り上げ等、身近な題材から算数の問題を発見する工夫をしている。</p> <p>○巻末には、探究的なページや特設教材があり、コラムでは、算数への興味・関心を高め、主体的に取り組むことができるようなページが設定されている。</p> <p>○問題解決学習の過程を「はてな→なるほど→だったら」といった児童の問いをもとに掲載している。</p> <p>○思考力・表現力の基盤として、ノートに書く活動を重視したページがある。友達のよさを見付ける活動を通して、表現力を高める工夫がされている。</p>	
<p>資 料</p>	<p>○実生活との関連を図るため、身近な内容や社会・自然の事象が絵や写真により、取り上げられている。</p> <p>○全単元における挿絵を統一し、吹き出しで学習の手順等も示している。</p> <p>○必要感をもって統計の問題に取り組める教材が設定されている。統計的な問題解決の方法を示している。</p>	
<p>表記・表現</p>	<p>○読みやすい位置で改行している。</p> <p>○新出の算数用語は朱色で示し、解説全体も線で囲み、強調している。</p> <p>○色づかいがはっきりしている。</p> <p>○本文の書体は、太さの強弱をおさえたUDフォントを使用している。</p>	
<p>総 括</p>	<p>○次単元に関わる既習事項を確かめるページ、既習とつながりが分かる表記、筋道を立てた考えを促す表記があり、児童に考えさせる構成になっている。</p> <p>○学習内容の振り返りに4コマ漫画を活用していて、児童の興味を引くことや学習の大切なところが分かるように工夫している。</p> <p>○独自開発のプログラミングツールを使って授業を展開できるように構成している。</p>	

種目（算数）

項目	書名 わくわく算数	61 啓林館
内容	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <p>○すべての単元に既習の学習事項を確認する「じゅんぴ」と学習内容を習熟度別に学習できる「もっと練習（2年生～6年生）」を設定している。道具の使い方の手順を細かく分割した連続写真で提示している。巻末の算数資料集は、説明の仕方や問題を解く時の考え方、図のかき方などを必要に応じて確認できるようにしている。各学年の巻末に学年の総復習ページが設けられている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <p>○単元の導入では、日常の事象を数理的に捉えるための「単元のとびら」が設定されていて、児童の主体的な思考を促すためのマークを用いている。思考の助けとなる図、表、式などを多く例示している。話合いの場面では、根拠や手順などを説明する活動を取り入れている。児童が筋道を立てて考え、説明できるように、学年の最初のページで話し合い方や考え方が例示されている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <p>○すべての単元で振り返りの例示と学びを生かした発展の活動が例示されている。算数で学習したことが、社会で活用できることを実感するための「ひろがる算数」を設定し、キャリア教育の一環として、算数が様々な職業につながっていることが実感できる内容を紹介している。学びのまとめのページでは「やってみよう」の欄があり、学びを生かす問題が記載されている。</p> <p><数学的活動を充実させるための工夫></p> <p>○児童の身近な事象や活動的な題材、既習とのつながりなどを取り上げて、主体的な学習ができるようにしている。</p> <p>○図のかき方や表のかき方をスモールステップで丁寧に説明している。児童が問題解決のプロセスを理解できるよう工夫されている。</p> <p>○数学的に表現することができるように、演算決定に関わる図の系統立てがされている。テープ図や線分図、関係図、数直線図を一貫して扱っている。</p> <p>○問題解決学習の各場面での児童から引き出したい発言・つぶやきが多く掲載されている。比較検討の場面での発言も例示されている。</p>	
資料	<p>○実生活との関連を図るため、身近な内容や社会・自然の事象が絵や写真により取り上げられている。</p> <p>○児童の吹き出しが多く、問題への新たな問い、気付き等促す工夫がある。</p> <p>○表やグラフを使って表現する力や統計データから特徴を読み取って結論を考察する力を育むため問題解決の過程に沿って学習できるようにしている。</p>	
表記・表現	<p>○読みやすい位置で改行している。</p> <p>○問題文や重要事項には、枠囲みや網掛けをして注目しやすくしている。</p> <p>○新しい算数用語の説明は、短く簡潔にまとめられている。</p> <p>○本文の書体は、太さの強弱をおさえたUDフォントを使用している。</p>	
総括	<p>○問題解決学習の流れが分かりやすい構成となっている。主体的な活動だけでなく、友達と共に解決していく協働も進められるようにした構成にしている。</p> <p>○「もっと練習」ページで習熟度に応じた問題を掲載したり、復習のページで、間違えやすい問題にマークを付けたりして工夫している。</p> <p>○プログラミングでは、ICTに応じてコンテンツを選べるようにしている。</p>	

種目（算数）

<p>書名 項目</p>	<p>小学算数</p>	<p>116 目文</p>
<p>内 容</p>	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○次の単元に入る前に既習事項を確かめ、単元末には学びを振り返るページがある。また、どの学年、どの単元で学習したか一目で分かるように見出しがある。基礎的な知識及び技能の習得のために、自主学習や家庭学習でも活用できる「しっかりチェック」を設定している。「わかっているかな?」「まちがしやすい問題」「たしかめポイント」が設定され、学習の習熟を図っている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○「算数で使いたい言葉・考え方」では、自分の考えを分かりやすく表現する際のポイントがまとまっている。順序や筋道に気を付けて話す、図や式を使って説明するなど、児童の表現力を支援する言語活動例を掲載している。折り込みのページがあり、閉じられた状態では複数のヒントから自分の解き方を順序立てて考え、開かれると様々な考えに触れられる設定になっている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○単元の導入には、遊びの要素のある活動や振り返り、身の回りにある算数を手がかりに、興味・関心をもたせる設定をしている。単元での学を生活の場面に生かし、算数の楽しさや意義を実感できるように「つなげる算数」を設定している。「活用」「算数アドベンチャー」では、他教科の学習とつなげた問題設定や日常生活の事象を算数の視点でとらえられる問題になっている。</p> <p><数学的活動を充実させるための工夫> ○各単元の初めに遊びや身の回りのことなど児童の興味や好奇心に働きかける題材を設定し、意欲的に活動に取り組めるようにしている。 ○筋道を立てて考える力や表現力を育てるための「算数ノートをつくらう」を設定している。 ○巻末に「学び方ガイド」があり、問題解決の過程を詳しく提示しているので、児童が見通しをもって問題解決に臨むことができる。 ○「自分で みんなで」では、図や数、式などを用いて、数学的に表現し、伝え合う活動を取り上げ、児童の考えを学習展開に沿って提示している。</p>	
<p>資 料</p>	<p>○実生活との関連を図るため、身近な内容や社会・自然の事象が絵や写真により取り上げられている。 ○吹き出しはどのような見方・考え方を働かせるかの手がかりとなっている。 ○統計データは、児童の身近なものを題材とし、データの収集や分類・整理がしやすいデザインになっている。統計的探究プロセスを漫画で示している。</p>	
<p>表記・表現</p>	<p>○読みやすい位置で改行している。 ○問題文や重要事項には、枠囲みや網掛けをして注目しやすくしている。 ○新しい算数用語は、太字で示している。 ○本文の書体は、太さの強弱をおさえたUDフォントを使用している。</p>	
<p>総 括</p>	<p>○折り込みページの構成や「見方」「考え方」「方略」をカードにして見通しを立てることにより主体的な学習ができるように工夫している。 ○巻末の折り込み付録では、実際に手を動かしながら活動することにより、数学的活動を通じた実感的な理解ができるようにしている。 ○「スクラッチ」を使ったプログラミング体験ができるようになっている。</p>	

種目（理科）

<p>書名 項目</p>	<p>新しい理科</p>	<p>2 東書</p>
<p>内容</p>	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○単元初めに「学んだことを使おう」があり、既習事項の振り返りができるように工夫がされている。また、単元末には、学習した知識・技能の定着を図るための問題が設定されている。さらに、巻末資料では、観察、実験の基礎的な技能をまとめて掲載し、確実な定着が図られるよう工夫されている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○考察の場面では、「理科のミカタ」で実験結果から具体的に考える視点を与え、思考力、判断力の育成につなげる工夫がされている。また、予想・実験計画・考察の場面では、吹き出し等を活用して思考例を示し、思考力、表現力が高まる工夫がされている。単元末には、学習したことを活用して考える問題が設定されている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○問題をつかむ場面では、実際の活動や既習事項、生活経験等をもとに児童が問題を見出し、主体的に学習が進められるよう工夫がされている。また、職業等の取組と学習内容との関連を紹介しているキャリア教育の視点や中学校の学習内容との関連を発展的な学習として取り上げている。</p> <p><環境との関わりや安全性への配慮> ○生命尊重や環境保全に関わる内容には「かんきょうマーク」を付けて強調している。6年では、持続可能な社会の構築のために自分たちができることを「行動宣言書」としてまとめる活動を取り上げている。また、安全に対しての配慮が必要な場面では、「きけん」マークをつけ、注意事項を赤い文字で強調して示している。</p>	
<p>資料</p>	<p>○写真やイラストの配置は、学習内容によって比較する写真を掲載したり、透かして見たりするものが配置され、時間の経過や対応が読み取りやすく工夫されている。</p> <p>○巻末に、ノートの書き方・発表や話し合いの仕方・観察・実験の仕方に関する資料がまとめられている。</p> <p>○ぱらぱら漫画や巻末に切り取り式の資料がある。</p> <p>○インターネットを使って学ぶ資料が準備され、QRコード等でアクセスできる。</p>	
<p>表記・表現</p>	<p>○問題や実験の内容は常体であるが、本文は敬体で示されている。</p> <p>○理科で覚えるべき用語に下線を引いて、ルビを振っている。</p> <p>○問題解決の過程のタイトルが大きな字で示され、学習の流れがわかるよう工夫されている。</p> <p>○「問題」「まとめ」の文章が大きな文字で表記され、強調されている。</p>	
<p>総括</p>	<p>○巻頭に「理科の学び方」を示し、単元を通して、問題解決の過程をラインとタイトルで表現し、学習の流れを示している。</p> <p>○まとめの過程では、「学びを生かして深めよう」や「次の問題を見つけよう」等の活動が設定され、学んだことが次の学習へつながるように構成されている。</p> <p>○観察・実験では、準備物の一覧とチェックボックスが示されていて、その手順が写真や図を使って示されている。</p>	

種目（理科）

<p>書名 項目</p>	<p>たのしい理科</p>	<p>4 大日本</p>
<p>内容</p>	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○単元末には、キーワードで答えたり、説明したりする問題を設定し、学習した知識・技能の定着が図られるよう工夫されている。また、巻末の「まとめ」では学年の学習内容を確認できるようにしている。さらに、実験器具の基礎的な操作を巻末に掲載、動画コンテンツ等を準備し、確実な定着が図られるよう工夫されている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○3年では、問題を見出す力の育成に特化し、各単元の導入の活動や投げかけを工夫している。予想・実験計画・考察の場面では、吹き出しを活用して思考例を示し、思考力、表現力が高まる工夫がされている。単元末「学んだことを生かそう」、巻末「チャレンジ問題」では、学習したことを活用して説明する問題が設定されている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○問題を見つける場面では、学習内容に関わる写真と既習事項や生活経験、キャラクターの台詞等をもとに児童が問題を見出し、主体的に学習が進められるよう工夫がされている。また、読み物等の資料では、理科と仕事との関わり、伝統文化、科学技術等、現代的な諸課題や外国語との関連をマークで示し、取り上げている。</p> <p><環境との関わりや安全性への配慮> ○「りかのたまてばこ」等学んだことに関わる読み物資料には、ESDや環境、災害に関連する情報が取り上げられ、マークを付けて強調している。また、安全に対しての配慮が必要な場面では、「注意」マークをつけ、朱文字と囲みで目立たせ、適切に指導できるように工夫されている。</p>	
<p>資料</p>	<p>○写真やイラストは、紙面に大きく配置されている。</p> <p>○巻末に、ノート書き方・調べ方・観察・実験の仕方、各学年の学習内容に関する資料がまとめられている。</p> <p>○巻末の「科学者の言葉」や「防災・避難カード」等学年に特化した資料がある。</p> <p>○インターネットを使って学ぶ資料やARアプリが準備され、QRコード等でアクセスできる。</p>	
<p>表記・表現</p>	<p>○問題と結論の文章は3年では敬体、4年以上では常体で示されている。</p> <p>○理科で覚えるべき用語が太字で示されている。</p> <p>○問題解決の過程のタイトルがマークと大きな字で示され、学習の流れがわかるよう工夫されている。</p> <p>○「観察・実験」「結果」「結論」の過程には下地に色を付け、色分けをしている。</p>	
<p>総括</p>	<p>○巻頭に「理科の学び方」を示し、単元を通して問題解決の過程を「見つけよう」「調べよう」「伝えよう」の3つのステップで学習の流れを示している。</p> <p>○巻頭の「理科の学び方」では、その学年で育成の重点を置く問題解決の能力に星マークを付けて強調している。</p> <p>○観察・実験では、手順が写真や図を使って示されている。観察・実験で気をつける点をポイントマークで示し、青字でその内容を示している。</p>	

種目（理科）

<p>書名 項目</p>	<p>みんなと学ぶ 小学校理科</p>	<p>11 学 図</p>
<p>内 容</p>	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○学習過程や巻末には、「大事な言葉」として重要な語句を取り上げている。また、単元末には、キーワード等で答える問題を設定し、学習した知識の定着が図られるよう工夫されている。さらに、巻末では、実験器具の基礎的な操作を掲載し、チェックボックスを設けて、確認しながら確実な定着が図られるよう工夫されている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○予想・考察の学習過程において、具体的な視点を与えて考えるように工夫されている。問題を見出す・予想・実験計画・考察の場面では、吹き出しを活用して思考例を示し、思考力、表現力が高まる工夫がされている。5・6年の単元末「まとめてみよう」では、学習したことを活用して説明する問題が設定されている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○単元の初めに、学習によって身に付ける資質・能力と学習の流れが示され、見通しをもって学習が進められるように工夫がされている。また、発展的な教材が多く取り上げられている。資料には、科学者の言葉や学びが暮らしや仕事につながるもの等を取り上げている。</p> <p><環境との関わりや安全性への配慮> ○環境に関連する資料には、マークを付けて強調している。また、学習した内容を防災意識につなげる工夫がされている。さらに、安全に対する配慮が必要な場面では、「注意」マークをつけ、朱文字で目立たせ、適切に指導できるように工夫されている。</p>	
<p>資 料</p>	<p>○写真やイラストは、紙面に大きく配置されている</p> <p>○巻末に、伝え方・聞き方・観察の仕方・記録の仕方・調べ方・実験器具の使い方等の学び方、各学年の学習内容、大事な言葉に関する資料がまとめられている。</p> <p>○表紙に「科学者の写真」と裏表紙に「科学者の言葉」、資料に科学者の伝記が取り上げられている。</p> <p>○インターネットを使って学ぶ資料が準備され、QRコード等でアクセスできる。</p>	
<p>表記・表現</p>	<p>○問題とわかったことの文章は3年では敬体、4年以上では常体で示されている。</p> <p>○理科で覚えるべき用語が太字で示されている。</p> <p>○問題解決の過程のタイトルが白抜きの大きな字で示され、ページ内容の学習過程上の位置づけが、ページ下に示され、学習の流れがわかるよう工夫されている。</p> <p>○学びの中で身に付けたい資質・能力を明らかにし、マークで示している。</p>	
<p>総 括</p>	<p>○巻頭に、理科の学び方を示し、単元を通して問題解決の過程を8つのステップでまとめ、学習の流れを示している。</p> <p>○巻頭の理科の学び方では、その学年で育成の重点を置く問題解決の能力と調べるときの考え方を明らかにし示している。</p> <p>○観察・実験では、準備物の一覧にチェックボックスがあり、その手順が写真や図を使って示されている。実験結果を直接記入できるようになっている。</p>	

種目（理科）

<p>書名 項目</p>	<p>未来をひらく 小学校理科</p>	<p>17 教出</p>
<p>内容</p>	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○巻頭では、前学年で学んだことがまとめて示されている。また、単元末には、学習した知識・技能の定着を図るための問題が設定されて、直接教科書に記入できる。さらに、巻末資料では、観察、実験の基礎的な技能や各学年で学習した内容をまとめて掲載し、確実な定着が図られるよう工夫されている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○問題を見出す・予想・実験計画・考察の場面では、キャラクターが具体的に考える視点を与え、吹き出しを活用して思考例を示し、思考力、判断力、表現力が高まる工夫がされている。学習過程の「学びを広げよう」や単元末「たしかめ」では、学習したことを活用して説明する問題が設定されている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○単元の初めに「学習のつながり」が示され、学習内容のつながりを意識して学習ができるように工夫されている。また、学びを広げる設問や資料が取り上げられ、巻頭や巻末には、科学の専門家のメッセージ等を掲載し、理科を学ぶ楽しさや有効性、科学技術の発展へのつながりを感じられるように工夫されている。</p> <p><環境との関わりや安全性への配慮> ○学習内容と関連する環境保全の取組等を資料や読み物で取り上げ、マークを付けて、地球環境保全の意識化が図られるよう工夫している。また、安全に対する配慮が必要な場面では「注意」マークを付け、怪我等の恐れがある場面では、「きけん」マークを付けて、適切に指導できるように工夫されている。</p>	
<p>資料</p>	<p>○写真やイラストは、紙面に大きく配置されている。</p> <p>○巻頭には伝え方やノートの取り方、巻末には発展的な読み物・実験器具の使い方・安全の手引きの資料がある。付録として「星座早見」「人体図」等の資料がある。</p> <p>○タブレットパソコンを活用した観察等を掲載されており、ICT機器を活用する場面を意識した構成になっている。</p> <p>○インターネットを使って学ぶ資料が準備され、QRコード等でアクセスできる。</p>	
<p>表記・表現</p>	<p>○本文や読み物は敬体、観察・実験、結論の文は常体で示されている。</p> <p>○理科で覚えるべき用語に太字とマーカー処理で示されている。</p> <p>○問題解決の過程のタイトルが大きな字と囲みで示され、学習の流れがわかるよう工夫されている。</p> <p>○問題解決の過程における問題・結論は下地に色を付けて、色分けされている。</p>	
<p>総括</p>	<p>○巻頭に理科の学び方を示し、問題解決の過程を「問題を見つける」「考えをつくる」「考えを確かめる」「表現する」の4つのステップで学習の流れを示している。</p> <p>○巻頭の理科の学び方では、学習のステップにおける自分の考えを相手にどのように伝えるかを話型で示している。</p> <p>○観察・実験では、準備物の一覧にチェックボックスがあり、写真や図を使いながら、その手順を番号で示している。</p>	

種目（理科）

項目	書名 わくわく理科	61 啓林館
内容	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○単元初めに「思い出してみよう」があり、既習事項の振り返りができるように工夫がされている。また、単元末には「新しく学習した言葉」の確認と学習した知識・技能の定着を図るための問題が設定されている。さらに、巻末「資料室」では、観察・実験の基礎的な技能を掲載し、確実に定着が図られるよう工夫されている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○問題作り・予想・計画・考察の場面では、キャラクターが具体的に考える視点を与え、吹き出しを活用して思考例を示し、思考力、表現力が高まる工夫がされている。単元末「活用しよう」は、学習したことを活用して説明する発展問題として設定されている。また、「まとめノート」はまとめ方の例として取り上げられている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○問題を見つける場面では、学習内容に関わる写真と既習事項や生活経験、キャラクターの台詞等をもとに児童が問題を見出し、主体的に学習が進められるよう工夫がされている。また、「つなげよう」等読み物の資料では、学習内容に関わる内容や科学技術、防災・減災等、今日的な諸課題への対応を取り上げている。</p> <p><環境との関わりや安全性への配慮> ○生物の多様性や生命の神秘を実感できる資料や読み物を取り上げ、マークを付けて自然環境への意識化が図られるよう工夫している。また、安全に対しての配慮が必要な場面では「注意」マークを付け、注意事項が朱書きされ、怪我等の恐れがある場面では、「けが」マーク等を付けて適切に指導できるように工夫されている。</p>	
資料	<p>○写真やイラストは、紙面に大きく配置されている。</p> <p>○巻末には調べ方・表し方・算数との関連・器具の使い方・ものづくりの資料がある。また、付録として「月の満ち欠けモデル」「雲の観察カード」等の資料がある。</p> <p>○6年では「条件」と「動作」の組み合わせを、シールを使って考えるプログラミング体験資料を掲載している。</p> <p>○インターネットを使って学ぶ資料が準備され、QRコード等でアクセスできる。</p>	
表記・表現	<p>○本文や読み物は敬体、問題、観察・実験、まとめの文は常体で示されている。</p> <p>○新しく学習した用語は太字で、漢字にはルビが振られている。</p> <p>○問題解決の過程のタイトルが大きな字と囲みで示され、それぞれが矢印でつながれて学習の流れがわかるよう工夫されている。</p> <p>○問題解決の過程におけるまとめは、箇条書きで示されている。</p>	
総括	<p>○巻頭に理科の学び方を示し、単元を通して問題解決の過程を「見つける」「調べる」「振り返る」の3つのステップで学習の流れを示している。</p> <p>○巻末の「理科の考え方ははたらかせよう」では、各学年で育成すべき問題解決の力を、偉人からのメッセージや具体的な事例等をもとに示している。</p> <p>○観察・実験では、準備物の一覧にチェックボックスがあり、その手順を写真や図を使いながら示している。</p>	

種目（生活）

<p>項目</p>	<p>書名 新しいせいかつ</p>	<p>2 東書</p>
<p>内容</p>	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○「やくそく」や巻末の「かつどうべんりてちょう」で安全やマナー等生活上の習慣、インタビューやICTを活用した調査方法、情報収集後の学び方やまとめ方等技能の習得が図れるよう工夫されている。 <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○児童が思考・判断・表現している姿が、吹き出しや挿絵、作品例で示されている。また、多様な表現活動や交流例で児童が思考し表現できるように工夫されている。 <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○身近な人々や自然、社会と関わる姿が写真やイラスト等で示されている。「できるようになったことをふりかえろう」で意欲や自信をもって取り組んだり生活を豊かにしたりしようという態度を育てるページが設けられている。 <具体的な活動や体験を通して気付きの質を高めるための工夫> ○観察カード例やICTの活用例、「まとめよう つたえよう」の例等により、具体的な活動や体験を通して思考するという低学年の発達に配慮されている。 ○身近で取り組みやすい学習活動や学習材料が取り上げられている。また、「やってみよう」などの発展学習ページによってより気付きの質を高められるよう工夫されている。 <幼児期の教育や中学年以降の学習と関連付ける工夫> ○地域へ出て多くの方と触れながらわかったことをまとめるなど、総合的な学習や理科、社会科の学習へつなげるような内容の単元が組まれている。 ○「がっこうせいかつすたあと」では、幼児期の終わりまでに育ってほしい姿が示され、家庭との連携で子どもを育てていくような内容になっている。</p>	
<p>資料</p>	<p>○切り離して使用できる「ポケットずかん」は、本当の大きさに動植物が描かれており、取り外して持ち歩くことができる。 ○巻末の「かつどうべんりてちょう」は、生活に必要な習慣や技能がまとめられ、活動に応じて確認できるようになっている。</p>	
<p>表記・表現</p>	<p>○単元名や活動のめあて、学習の流れ、習慣や技能の指導等が定位置におかれて児童にわかりやすい配置されている。 ○美しくダイナミックで表情豊かな写真・イラストによって児童の意欲を喚起するような作りになっている。文字も読みやすい</p>	
<p>総括</p>	<p>○スタートカリキュラムは、幼児期の育ちを生かした学校生活が円滑に進むよう工夫され、また保護者と一緒に家庭でも学べるよう保護者向けの注釈もある。 ○大判の教科書に、注目してほしい点を中心とした写真や挿絵が配置されている。吹き出しは、児童主体で、対話しながら学びを深めていける言葉で示されている。</p>	

種目（生活）

<p>項目</p>	<p>書名 たのしい せいかつ</p>	<p>4 大日本</p>
<p>内容</p>	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○巻末の「がくしゅうどうぐばこ」では、安全や技能習得にかかる内容が示されている。「せいかつことば」や写真資料等の情報がページ右端にコラムのように提示され、では、学習を進める語彙を豊かしたり知識を習得したりする工夫がある。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○児童が先生や友達と意見交流をしている場面が例示されており、児童が気付きを共有したり、自ら考え、活動へ促したりするように工夫されている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○単元と単元とのつなぎで活動後の振り返りがあり、家族や地域で実行できるよう例示がされて今後の自分の生活を豊かにしようとする姿を育成できるような工夫がある。</p> <p><具体的な活動や体験を通して気付きの質を高めるための工夫> ○大きな写真やモノクロ写真の効果的な使い方、自作カメラや懐中電灯などで学習の意欲を高め、具体的な活動や体験を通して、気付きの質を高める工夫がある。 ○観察カードや道具の作成方法、ICTの活用の提示により、興味を持って活動に取り組み、相手意識を明確にしながらキャラクターが手助けして表現できるような工夫がある。</p> <p><幼児期の教育や中学年以降の学習と関連付ける工夫> ○スタートカリキュラムのページでは幼児期に経験した遊びや生活を示しながら自信をもって小学校生活がスタートできるように工夫されている。 ○生活科の学習で、地図をかく、ゴムでおもちゃをつくるなどが3年以降の社会や理科につながるような内容につなげられている。</p>	
<p>資料</p>	<p>○上巻の「たんけんカメラ」や下巻の「透明シート」は児童の興味関心を引きつける工夫をしている。 ○「がくしゅうどうぐばこ」は、動植物や他教科との関連に生かせるような資料が提示されている。</p>	
<p>表記・表現</p>	<p>○活動のめあてを風船のイラストに提示したり、イラストやキャラクターを入れたりするなど、子供に親しみやすいページ構成になっている。 ○学習を進める上での教室環境や板書等、児童の活動や教師も参考となる工夫がされている。</p>	
<p>総括</p>	<p>○児童が生き生きと活動している姿を捉えている写真やイラスト、学習カードが提示され、学習意欲が高まる工夫がなされている。 ○付録を使って体験活動をさせる単元構成になっているところや、表紙の凹凸等から、見る、触れるという感性を刺激する仕掛けが見られる。</p>	

種目（生活）

<p>書名</p> <p>項目</p>	<p>みんなとまなぶしょうがっこうせいかつ</p>	<p>11</p> <p>学 図</p>
<p>内 容</p>	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <p>○「せいかつまなびかたずかん」では、活動の基礎等他教科にも生かせる技能が掲載されている。また「ものしりノート」では、発見カードや物作りなど学習体験や知識が広がるよう構成されている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <p>○友達との対話の場面が設定され、深めた自分の思いや考えを様々な方法で表現できるよう、例示がされている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <p>○活動ごとに大単元になっており、身近な人々と関わって多様な表現方法と交流を行いながら自らを振り返り、成長を自覚し生活を豊かにしようとする態度を養う工夫をしている。</p> <p><具体的な活動や体験を通して気付きの質を高めるための工夫></p> <p>○子どもの活動の様子や、自然界の発見を大きな写真で示すことで、児童の観察する視点を提供し、実生活で生かせるようにしている。</p> <p>○カード、作文、手紙、劇やICTの活用、体験の様子などが提示され、様々な表現方法が工夫できるようになっている。生活科カードは朱書きされており、子供の気付きを価値づけている。</p> <p><幼児期の教育や中学年以降の学習と関連付ける工夫></p> <p>○スタートカリキュラムのページは、入学したての児童にもわかりやすい短文やイラストで構成されている。</p> <p>○観察カードの書き方や地図の見方、ものの数え方など他教科との関連を意識する指導内容が入っている。</p>	
<p>資 料</p>	<p>○「まなびかたずかん」では、学習のスキルが上がるように項目ごとにまとめられている。「ワンポイントアドバイス」でより取り組めるよう工夫されている。</p> <p>○「ものしりノート」で観察カードの具体的な書き方やもの作り、栽培方法等参考になるものが具体的に示されている。</p>	
<p>表記・表現</p>	<p>○巻末と連動できるよう、各所にページが記されているので、「まなびかたずかん」が活用しやすい。</p> <p>○観察カード例が豊富で、児童の表現方法や教師のコメント例など発達段階にあった例示がされている。</p>	
<p>総 括</p>	<p>○「まなびかたずかん」では、自己評価欄で振り返りができるように設定されていることで、学びに向かう力が高められるようになっている。</p> <p>○学習の流れの中で参考となるよう「ものしりノート」や「やくそく」等が資料として紹介されている。</p>	

種目（生活）

<p>項目</p>	<p>書名 せいかつ</p>	<p>17 教出</p>
<p>内容</p>	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○「まなびのポケット」で各教科との関連を図りながら知識や技能を取得できるようにイラストや短文等で学習が進められるよう工夫している。また、クイズを通して興味をもって知識が習得できるような工夫がされている。 <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○考えが可視化できる板書、友達と伝え合ったり、振り返ったりする活動の例示で、表現の意欲が高められるよう工夫がされている。 <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○単元の最後には、振り返りを行う「まんぞくハシゴ」を設定し、学習意欲や自信を表現できるページが設定されている。また、自分で取り組むことやまとめを記入できるコーナーを設けることで今後の活動意欲を高める工夫がされている。 <具体的な活動や体験を通して気付きの質を高めるための工夫> ○児童の思いや考えが思考ツール等で児童が思考を整理できるようにしている。また、考えの流れが見えるような板書例が出されている。 ○各単元で「きづく」ページや、教師の吹き出し、ICTの活用で児童が活動へ進めるように構成されている。「ひんと」で様々な活動例を載せ児童の活動に幅が生まれるように工夫されている。 <幼児期の教育や中学年以降の学習と関連付ける工夫> ○幼保で行ってきた生活が学校でも生かされるよう幼保でのイラストが描かれ小学校の生活と連動できるように工夫されている。 ○発展「理科へのまど」「社会科へのまど」を設けることで、中学年への学習に繋げている。</p>	
<p>資料</p>	<p>○「まなびのぼけっと」は、他教科との知識・技能を活用して表現方法を整理したり活動したりすることができるように例示がされている。 ○クイズのページやずかん、カレンダーなどのページ、デジタル教材が設定されているので、児童の学習意欲が高まるよう工夫されている。</p>	
<p>表記・表現</p>	<p>○キャラクターの言葉で児童が考えたり振り返ったりできるよう学習に引き込む工夫をしている。 ○板書や記録カードの例が大きく、具体的に例示やヒントコーナーなどが設定されるなど活動しやすいように工夫されている。</p>	
<p>総括</p>	<p>○生活科で学ぶ力がサイコロで示され、単元の流れを理解しながら学習に取り組むことができるよう工夫されている。 ○単元の最後は、「何をかんじたかな」で発信し、「まんぞくハシゴ」での自己評価や振り返りをまとめるページの設定により気付きの質を高める工夫がされている。</p>	

種目（生活）

書名	せいかつ	38 光村
項目		
内容	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○「どうすれば」のコーナーでは、活動のヒントや気付かせたいポイントが例示されている。また、「ひろがるせいかつじてん」では、体験活動や表現活動がさらに深められるよう提示されている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○必要最低限と思われる情報を掲載し、課題に対して試行錯誤したり、気付いたことをまとめて考えを深めたりしながら思考、表現する内容になっている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○単元の内容は「ホップ」「ステップ」「ジャンプ」の3段階で、学習の流れを確認しながら学びを深め、主体的で意欲的に学び方や気付きを日常生活に生かせるような構成になっている。</p> <p><具体的な活動や体験を通して気付きの質を高めるための工夫> ○活動のヒントとなるようなイラストや児童のつぶやきが提示されていることで、実際の活動へ促すことができるよう構成されている。 ○児童が試行錯誤を繰り返しながら体験や表現を繰り返し、気付きの質を高めるような工夫がなされている。自分の考えをシールに書き込み、教科書に貼ることで、自分なりの表現ができるような工夫がされている。</p> <p><幼児期の教育や中学年以降の学習と関連付ける工夫> ○スタートカリキュラムのページは、児童の生き生きとした活動写真で、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を踏まえて構成されている。 ○情報収集やまとめ、地図の見方、理科につながるおもちゃづくりなど、中学年からの社会科、理科、総合的な学習の時間に接続できる内容を例示している。</p>	
資料	<p>○「ひろがるせいかつじてん」では、安全面や生活習慣等により自分自身の生活が豊かになるために考えられるような提示をしている。</p> <p>○「きせつのおくりもの」のページは、折り込み式で里山と町中の定点写真から季節の移り変わりを感じることができるようになっている。</p>	
表記・表現	<p>○文字は親しみを感じる形体で写真やイラストがシンプルで見やすく、児童の考えがうまく引き出せるよう精選した内容になっている。</p> <p>○「どうすればコーナー」や活動の流れがわかる写真の並べ方など児童の考えが広がるような工夫が見られる。</p>	
総括	<p>○「ホップ」「ステップ」「ジャンプ」の3構成で編集され、まとめのところでは、シールで振り返り、自分で貼りながら自らの成長が可視化できるようにしている。</p> <p>○「これまでもおもいだそう、これからもつづけよう」のページでカリキュラムマネジメントに生かせるまとめのページが設定され学びを広げることができる。</p>	

種目（生活）

<p>書名 項目</p>	<p>わくわくせいかつ いきいきせいかつ</p>	<p>61 啓林館</p>
<p>内容</p>	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○「こんなときにどうしよう」や「がくしゅうずかん」では、知識、技能や学び方が身につくように提示されている。「できるかなできたかな？」では振り返りをしながら技能の定着を図れるよう工夫されている。 <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○気付いたことなどを考えたり表現したりできるよう、児童の会話例や表現方法が例示され、自分の考えを広げたり深めたりする活動ができるよう工夫されている。 <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○「わくわく」「いきいき」「ぐんぐん」という単元構成で、思いや願いの連続性を深め、特に「ぐんぐん」では学習の振り返りから今後の生活や学習に生かせるような工夫がされている。 <具体的な活動や体験を通して気付きの質を高めるための工夫> ○単元末の「ひろがるきもち」では、学習したことを今後の生活に生かせるような例示がされ今後の生活や活動へ導くような提示がされている。 ○「わくわくボックス」や思考ツールを用いた板書例、付箋やICT等での表現例等、多くの活動を通して思考させ、児童の心を揺さぶり、気付きの質を高めようとしている。 <幼児期の教育や中学年以降の学習と関連付ける工夫> ○「すたあとぶっく」では、幼保の写真で振り返りながら学校生活で生かせるような構成をしている。 ○「3年生へのステップブック」や他教科との関連も例示し、次の学年への連携ができるよう工夫されている。</p>	
<p>資料</p>	<p>○3年生のステップブックにより、これまでの活動が3年生で使えるよう工夫されている。 ○「がくしゅうずかん」で伝え合いの方法や安全面、道具の扱い等がわかりやすく提示されている。</p>	
<p>表記・表現</p>	<p>○他教科との関連や「がくしゅうずかん」のページが示され、表現の工夫へ導くことができる。 ○子供の興味を引くキャラクターの登場で気付きのヒントや安全上の留意点が示されている。</p>	
<p>総括</p>	<p>○「わくわく」「いきいき」「ぐんぐん」の3段階構成によって、生活科の学びの流れを踏まえて指導しやすくなっている。 ○上巻はじめの「すたあとぶっく」から下巻の「3年生へのステップブック」が掲載され、導入から3年生への接続がうまくつながるような構成になっている。</p>	

種目（生活）

<p>書名</p> <p>項目</p>	<p>わたしとせいかつ</p>	<p>116</p> <p>日 文</p>
<p>内 容</p>	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <p>○「ちえとわざのたからばこ」では、思いの伝え方や道具の使い方、生活に生かすための様々な方法が丁寧に載せられている。また、「ちゅうい」や「ひんと」等は、日常の安全が意識されるように工夫している。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <p>○学習活動例が写真や、吹き出し、作品例で示されている。友達や先生との交流によって、課題を見つけ思考しながら活動に取り組めるような工夫がされている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <p>○ページ下の学習のめあてに対して活動の実践例を挙げ、意欲や自信をもって取り組んだり、関わったりしたことを「ふりかえる つなげる」構成にして生活を豊かにする態度を養う工夫がされている。</p> <p><具体的な活動や体験を通して気付きの質を高めるための工夫></p> <p>○体験や表現活動の例示として動作化や新聞、ICTの活用等具体的な活動例が示され、児童が意欲的に表現したり考えたりすることができるようになっている。</p> <p>○単元の最初での交流とまとめでの交流の様子を提示し、活動に取り組む中で考えを明確にしたり、変容したりする自分に気付き、今後の生活に生かそうと取り組むように単元構成がされている。</p> <p><幼児期の教育や中学年以降の学習と関連付ける工夫></p> <p>○「いちねんせいになったら」では、学校生活の様々な写真で、児童が見通しをもつことができるよう工夫されている。</p> <p>○「2年生のスタートカリキュラム」も設定され、理科や社会、総合的な学習の時間につながるような探究的な学習等が組まれている。</p>	
<p>資 料</p>	<p>○巻末の「ちえとわざのたからばこ」では、生活習慣や安全面等、知識、技能が高められるような内容が掲載されている。点字の掲載もある。</p> <p>○「ポケットずかん」では、各単元で参考となるような内容が組み込まれ、児童の主体的な活動ができるようになっている。</p>	
<p>表記・表現</p>	<p>○キャラクターを使って、学習のヒントや気付き、注意などを促し、児童の気付きの手助けをしている。</p> <p>○単元やめあてが、定位置に配置され、文字や記号に色をつけてわかりやすいように記載されている。</p>	
<p>総 括</p>	<p>○各単元とも導入から発展の内容が、「ポケットずかん」や巻末の「ちえとわざのたからばこ」と関連して学べるようページ数が記載されている。</p> <p>○自然や昔からの知恵や伝統を意識させるような写真やイラスト等が紹介され、主体的に体験できるような構成になっている。</p>	

種目（音楽）

<p>書名</p> <p>項目</p>	<p>小学音楽 音楽のおくりもの</p>	<p>17</p> <p>教出</p>
<p>内 容</p>	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <p>○基礎的・基本的な事項を身に付けさせるために、具体的なアクティビティを提示し、繰り返し指導をしていくことで着実に身に付けさせることができるよう工夫されている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <p>○児童が思考判断したことを表現しやすいように、どのように授業を進めていけばよいかを丁寧に説明し、様々なアプローチで学習ができるように工夫されている。</p> <p>○学習のスタートからゴールまでの流れが示されている。児童が、音楽に対する感性を育んだり、豊かな情操を育んだりするための工夫がされており、興味関心をもてる工夫がされている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <p>○透明シートを活用して、新出事項を学習できるようにしたり、音楽を表す言葉をまとめた資料を巻末に掲載したりしている。</p> <p>○WEBコンテンツが用意されている教材に「学びリンク」マークを設定し、目次にQRコードを載せ、教科書から1歩深めた学習活動ができるよう工夫されている。</p> <p>○児童が音楽の学習で得た音楽経験や知識を生活に広げることができるように、生活の中にある様々な音や音楽を多く取り入れ、音楽に関する感性や豊かな情操を育む工夫がされている。</p> <p><生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる資質・能力を育成するための工夫></p> <p>○身の回りで見つけた音を生かした音遊びや即興的な表現ができるように、音楽作りの活動を発達段階に応じて工夫して取り入れている。全学年「音のスケッチ」を通して系統的に学習できるよう配列が工夫されている。</p> <p>○わらべうた、各地のお祭りの音楽や民謡等、曲が生まれた背景やその国の風土なども掲載されている。また、選択教材として和楽器にチャレンジできる内容が盛り込まれており、特にしの笛の演奏方法が丁寧に説明されている。</p>	
<p>資 料</p>	<p>○教材に合わせた写真を見開き以上の大きさのページを用いて掲載し、曲の世界を想像しやすいように工夫がされている。</p> <p>○学習する際の手立てとして透明シートが使用され、工夫されている。</p> <p>○巻末には音符や休符、記号など音楽の要素がまとめられている。</p> <p>○「Short Time Learning」では、英語曲が全学年に配置されている。</p> <p>○鍵盤ハーモニカの実寸大の鍵盤の写真が掲載され、運指の間違いが少なくなる工夫がされている。</p>	
<p>表記・表現</p>	<p>○見開きの教材や、教科書の大きさ、楽譜、文字の大きさ等も工夫されている。</p> <p>○学習指導要領外の内容は、「はってん」として示されている。</p> <p>○題材ごとに通し番号が振られ、題材のまとまりが示されている。新出事項については、右サイドにまとめてあり、指導のめれがないよう工夫されている。</p> <p>○3年生～6年生はメモ欄が付けられている。</p>	
<p>総 括</p>	<p>○歌唱共通教材は、「にっぽんのうた みんなのうた」として配置されており、より歌詞に忠実な写真を掲載し、イメージをもてるようにしている。また資料写真も充実している。</p> <p>○紙面の編集について、全体的に、特別支援教育の視点に立った配慮や、色覚特性をもった児童への配慮がなされている。</p>	

種目（音楽）

<p>書名</p> <p>項目</p>	<p>小学生の音楽</p>	<p>27</p> <p>教 芸</p>
<p>内 容</p>	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <p>○基礎的・基本的事項を身に付けさせるために、題材や教材が学年内でのバランスを考慮して、学年間の関連も図りながら構成されており、積み重ねの学習ができるように工夫されている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <p>○音楽を表す挿絵や写真が添えられていることで、音楽の理解が深まり、表現する上で、それらをヒントに表現の工夫を考えることができるように工夫されている。</p> <p>○作品例やワークシート例、グループ活動時の会話を吹き出しにより例示し、児童が表現に対して自分の思いをもったり、音楽や演奏の良さを味わいながら聞いたりするための情報が示されている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <p>○1年間で学習する内容が巻頭のページに示されており、見通しがもてるようになっている。また学習を振り返る「振り返りのページ」を設けている。</p> <p>○補充として映像資料や曲紹介、QRコードから得られる動画などのコンテンツを活用することで、児童が様々な視点から興味関心をもてるように、工夫されている。</p> <p>○児童が音楽科の学習で得た音楽経験や知識を生活に生かすことができるよう、また生活音を題材にした音楽作りができるように、音や音楽への関心を促すコラムや特集を配置している。</p> <p><生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる資質・能力を育成するための工夫></p> <p>○身の回りの音を音楽づくりの活動に関連付ける活動が全学年取り入れられ、確実に定着できるように内容を精選している。生活音を題材にした教材を扱うことで自分と音楽の関わりをより感じるようにしている。</p> <p>○地域のお祭りや音楽に親しみを感じながら学習できるよう、体験型の鑑賞学習を取り入れている。同一曲の指揮者が違う演奏をするなど1つの曲・テーマから音楽が広がること、音楽に対する感性を育むことができる。</p>	
<p>資 料</p>	<p>○挿絵は、歌詞の内容の情景を表すための資料や、日本の季節の移ろい、変わる景色など、生活経験の少ない児童にもわかりやすい内容になっている。</p> <p>○楽器の演奏法が示されており、学習をする際の手立てとなっている。</p> <p>○巻末には音符や休符、記号など音楽の要素がまとめられている。</p> <p>○外国語との関わりとして、3年生以上に各1曲英語の曲が掲載されている。</p> <p>○指導者用デジタル教材には、旋律を追いながら、演奏が流れる機能が付いている。</p>	
<p>表記・表現</p>	<p>○楽譜が複数段になっている教材も、段と段の間隔が適切に設けられている。</p> <p>○キャラクターが吹き出しでヒントや学習を進めるポイントを示している。</p> <p>○題材ごとに通し番号が振られ、まとまりが示されている。記号の取扱いについては、全学年統一で巻末に「新しく覚えること」として示されている。</p> <p>○ワークシート型のページがある。児童の発想を生かした活動が示されている。</p>	
<p>総 括</p>	<p>○歌唱共通教材では、「歌いつごう 日本の歌」が配置され、季節ごとの行事、動物や自然に向けた優しい心を育てる歌、日本語の美しさに触れられる歌などが取り上げられている。</p> <p>○紙面の編集について、全体的に、特別支援教育の視点に立った配慮や、色覚特性をもった児童への配慮がなされている。</p>	

種目（ 図画工作 ）

項目	書名 図画工作	9 開隆堂
内 容	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○体験を繰り返し、協働してつくる活動を促すような紙面となっており、学びの中で自分なりの知識や技能を獲得できる構成となっている。 ○各題材における知識や技能を「くふうさん」マークで示すことで明確にしている。体全体を使ったり、材料や場のよさを生かしたりする写真が多く掲載されており、それらを参考にしながら、様々な知識や技能が身に付けられるようになっている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○各題材における思考力、判断力、表現力を「ひらめきさん」マークで示すことで明確にしている。「ひらめきさん」が発想のきっかけを提案する場面もあり、思考力を促していく仕組みが掲載されている。 ○「つくり、つくりかえ、つくる」ことを意識した題材が配列され、何度も試行錯誤しながらつくっていくことができるようになっている。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○各題材における学びに向かう力、人間性等を「こころさん」マークで示すことで明確にしている。 ○新しい素材や様々な表現方法等を取り入れた題材が設定されていて、児童がわくわくする学びが保障されている。 <p><表現及び鑑賞が相互に関連する学習活動を充実するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○題材設定や題材の中での活動に、表現と鑑賞が関連する仕組みが設定されている。 ○登場するキャラクターの吹き出しに、形や色といった〔共通事項〕につながる言葉が示され、表現と鑑賞の関連を意識できるようになっている。 <p><用具の安全な取り扱いについて指導するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「安全」、「かたづけ」について囲みを設けたり、写真を用いたりすることで、視覚的に捉えやすいものになっている。 	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ○QRコードが掲載されており、用具の使い方や製作の手順などが簡単に視聴することができるため、教材研究に有効である。また、家庭でも見ることができるので、反転学習に活用したり、児童・保護者への学習への理解促進につながったりする。 ○ページ左上に用具、材料などが絵や言葉で示されているので、何を使うかが把握しやすい。家庭での材料集めにもつなげやすい。巻末には「学びのしりょう」として、その学年の学びをサポートする資料が掲載されている。 	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○各題材で特に重点的に身につけたい観点が赤字と下線で示されており、教師、児童ともに、めあてをより意識しやすくなっている。 ○作品例同士の間や余白が適切であり、背景色や作品例の色遣いにも配慮されているので、視認しやすい。 	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> ○新しい視点で学びを提案したり、新たな題材を設定したりしている。クリアファイルや紙袋、紙バンドなど、児童にとって身近な材料を扱う題材も多く設定されている。 ○「あわせて学ぼう」という記載もあり、他教科と関連をもたせながら教科横断的に取り組むことができるようになっている。 	

種目（ 図画工作 ）

項目	書名 図画工作	116 目 文
内 容	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○製作の途中や試している様子の写真が多く掲載されており、試行錯誤しながら学びの中で自分の知識や技能を獲得できる構成となっている。 ○各題材で身に付けるようにしたい知識や技能がわかる写真を掲載している。自分の感覚や行為を通して、造形的な視点を深めながら、知識や技能が習得できるようになっている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○キャラクターの吹き出しは、表し方の違いを提案したり、問いかけによる児童の思考の活性化を促したりしている。「自分ならどうかな」と考えたり、思いを明確にしたりするための工夫となっている。 ○材料や場所、言葉や生活経験などを発達の段階に応じて取り上げており、様々なきっかけを通して、児童の思いを引き出す工夫がされている。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域や家庭での取り組みの様子を掲載することで、つくったものが学校内で完結するのではなく、家庭や地域にも広がっていくことが理解できる内容になっている。 ○各題材の左上の「学習のめあて」、右下の「ふりかえり」は、児童ができたこと、できるようになったことへの自己評価を促す仕組みになっている。 <p><表現及び鑑賞が相互に関連する学習活動を充実するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「ひらめきポケット」のページには、表現と鑑賞が関連する内容が紹介されている。 ○キャラクターの吹き出しには、「形」「色」の言葉が多く示され、〔共通事項〕を意識できるようになっている。 <p><用具の安全な取り扱いについて指導するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○題材ごとに気をつけることが記載されている。また、巻末の「使ってみよう材料と用具」でも、安全な取り扱いについて図や写真入りで掲載されている。 	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ○実際の授業で撮影した情景写真を掲載し、授業の流れやプロセスが教師、児童ともにつかみやすい工夫がされている。また、作品例を数多く掲載し、一部分を拡大したり、吹き出しで考えを示したりして作者の工夫が読み取れるようになっている。 ○各題材の左下に、使用する主な用具が示されており、どんなものを使いながら学習していくかがイメージしやすくなっている。巻末には「使ってみよう材料と用具」を示し、その学年の学びをサポートする資料が掲載されている。 	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○作品の脇にその大きさ、使用した材料や用具などが記載されているため、児童が活動する際の参考にしやすい。 ○題材名の標記の字体やレイアウト、大きさなどが工夫され、児童の意欲を喚起できるものになっている。 	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> ○目につきやすい教科書の見返しや折返しに、児童が興味をひくと思われる大人の商品や身近なものを造形的な視点で撮影した写真が掲載されている。形や色に着目して、楽しめるようになっている。 ○「きをつけよう」、「かたづけ」が各題材に示されており、教師、児童ともに確認しながら授業を進めることができる。 	

種目（家庭）

書名 項目	新しい家庭 5・6	2 東書
内 容	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○家庭科の学習や普段の生活に最低限必要となる基礎的・基本的な知識・技能について、本文中及び巻末の「いつも確かめよう」に明確に示され、繰り返し確認しながら習得することができる。 ○小題材ごとに設定された「めあて」と「ふり返ろう」によってこまめに学習を振り返るとともに、実習題材の「できたかな？」により、身に付いたかどうか、自己評価できるようにしている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○15 すべての題材が「課題発見」「課題解決・実践活動」「評価・改善」の3つのステップで構成され、問題解決的な学習活動を繰り返し展開できる。 ○「話し合おう」「調べよう」などのサブタイトルで活動の内容が明示され、思考ツールやより効果的な情報発信例などもあわせて掲載され、主体的・対話的で深い学びにつながる工夫がされている。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○扉や「家庭科の窓」で、見方・考え方の4つの視点や家庭科学習の意義、他教科等との関連、2年間の学習の見通しをもてるよう工夫されている。 ○「生活を変えるチャンス！」は、学んだ知識や技能等を生かしながら、自ら家庭や地域でよりよい生活を創り出していくように導くものになっている。 <p><実践的・体験的な活動を伴った学習活動の工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「やってみよう」「深めよう」で具体的な活動内容を示し、児童が実践し、生活に生かしていくことができるような学習の流れになっている。 <p><安全・衛生の管理への配慮></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「安全」のマークをつけて、注意事項を具体的に示すとともに、巻末にもまとめて示している。巻末資料には、調理実習中に「地震が起こったとき」の行動の仕方も示している。 	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ○A4判サイズで、写真や文字情報が豊富に掲載されている。 ○学習に関する資料が詳しく盛り込まれているとともに、「プロに聞く」のコーナーが複数設けられ、キャリア教育につながる資料となっている。 ○QRコードで、基礎的な技能の動画など画像による資料が用意されている。 	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○各題材名が、学習を通して目指したい子どもの姿や心を示しており、児童の意欲を高めたり学習の見通しをもたせたりすることにつながる。 ○様々なマークを活用し、色を系統的に使用し、わかりやすく工夫されている。 ○児童が記入して活動に活用することのできる欄が多く設けられている。 	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> ○めあてと振り返りが明示され、見通しをもって学習を進め、知識・技能を確実に身に付けられるよう工夫されている。全題材で4つの見方・考え方と3ステップによる問題解決的な学習が展開されている。教室での主体的・対話的な学習活動例や家庭・地域での生活における実践活動例が具体的に示され、基礎基本の確実な習得と生活の自立につながるよう工夫されている。キャリア教育や食育、伝統文化など、今日的な課題に関する資料等が豊富に掲載されている。 	

種目（家庭）

書名 項目	わたしたちの家庭科5・6	9 開隆堂
内 容	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○実習では、2年間を見通して簡単なものから難しいものへと内容が系統的に配列されている。児童の思考の流れにあわせ、スモールステップをふんで、知識・技能が身に付いていくよう工夫されている。 ○実習の手順について、児童が活動のイメージを持ちやすい写真やイラストで示され、「できたかな」により、基礎的な技能が身に付いたかどうか自己評価できるようにしている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○20すべての題材で、はじめに写真やイラストを用いて児童の気付きを促し、主体的に課題を設定して学習が展開されるようにしている。 ○①「見つける・気づく」②「わかる・できる」③「生かす・深める」の3つの学習過程ごとにめあてが明示され、対話や学び合いのための具体的な活動例が示され、主体的・対話的で深い学びにつながる工夫がされている。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○扉に、家庭科における見方・考え方を「生活の見方・考え方4つの視点」として大きく明示し、各題材の中でもマークを使って示している。 ○導入で児童や児童の生活の写真やイラストから学習の課題や見通しをもち、学習後に家庭での実践や発展的な学習へとつながるよう配慮されている。 <p><実践的・体験的な活動を伴った学習活動の工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「レッツトライ 生活の課題と実践」「チャレンジコーナー」で、発展的な活動例が多く示され、家庭や地域での実践的な活動の展開を促している。 <p><安全・衛生の管理への配慮></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「安全に実習をしよう」という見開きページを設け、イラストから注意すべき事項を児童が気付いたり考えたりできるようにしている。本文中に「安全」マークをつけ、繰り返し注意事項を示し、チェックできるようにしている。 	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ○AB判サイズで、見開きで学習の流れが一目でわかるようまとめられている。 ○左利き児童のための大きな写真や動画参照資料、外国籍児童への指導資料も用意され、多様な児童の活動を支援する工夫がされている。 ○QRコードで、実習の動画や学習クイズなど、豊富な資料が用意されている。 	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○題材の導入時に、フォトランゲージを活用して児童の興味・関心を高め、めあてや活動を明示して学習の流れがわかりやすく示されている。 ○情報を絞って説明文が簡潔に示され、大切な言葉は太字で示されている。 ○「ひとロメモ」で関連する情報がたくさん示されている。 	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> ○基礎・基本的事項の習得から応用・発展的な学習へと系統的に展開され、児童の思考の流れに沿って構成されている。全題材で、主体的に課題をとらえ、学習を深め、学んだことを生活に生かしていくという、3ステップによる問題解決的な学習が展開されている。課題解決のための写真やイラスト、活動例などが量・質とも無理なく示されるとともに、左利き児童や外国籍児童への配慮、安全・防災やプログラミングに関する新しい資料も盛り込まれている。 	

種目（保健）

<p>項目</p>	<p>書名 新しい保健</p>	<p>2 東書</p>
<p>内容</p>	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○学習指導要領に示された学習内容が本文にまとめられており、終末の部分では、大切な言葉を（ ）を使用してまとめることで、基礎的基本的な知識が定着しやすくなるように工夫されている。 ○学習パターンを「気づく・見つける」→「調べる・解決する」→「深める・伝える」→「まとめる・生かす」の4段階とし、スムーズに授業展開できるような構成になっている。 <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○「深める・伝える」では、自分の考えを記述したり、ペア活動やグループ活動を多く取り入れたりするなど、主体的・対話的で深い学びができるような構成になっている。 <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○「気づく・見つける」では、写真やイラストを用いて、児童が日常生活の中で共感できる問題場面と取り上げ、児童が学習課題を自分事として捉えられるよう工夫されている。 <健康・安全についての理解を深めるための工夫> ○学習内容に関連した読み物や実践的な発展資料が多く、また学んだことを記述する欄が設けており、理解を深めるよう工夫されている。 <生涯にわたって健康を保持増進する資質・能力を育成するための工夫> ○オリンピック・パラリンピックアスリートの紹介やスポーツの意義について触れる等、保健と運動との関わりを考えるよう工夫されている。 ○中学校の内容を資料に掲載し系統的に指導できる工夫がされている。</p>	
<p>資料</p>	<p>○単元の導入に日常生活や自己の経験から考える活動をするために、大きな写真を含む見開き2ページで掲示され、児童の意欲喚起を促す工夫をしている。 ○キャラクターの言葉が児童の考えを深めるように工夫されている。 ○「熱中症」や「ASUKAモデル」「防災」等多くの現代的な話題や現代的な健康課題を取り上げている。</p>	
<p>表記・表現</p>	<p>○イラストが子供たちにとって親しみやすく、色分けや枠をきれいに区切る等ユニバーサルデザインを意識した工夫がされている。 ○A4サイズで写真やイラストが大きく表示されている。</p>	
<p>総括</p>	<p>○学習の進め方が4つ段階に統一されており、児童が主体的に学びやすい構成となっている。 ○写真やイラスト・デジタルコンテンツが充実しており、児童の知識が深まるよう工夫されている。 ○記述欄が豊富であり、自らの考えをまとめ振り返る場面が充実できるよう工夫されている。</p>	

種目（保健）

<p>書名 項目</p>	<p>たのしい保健</p>	<p>4 大日本</p>
<p>内容</p>	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○学習指導要領に示された学習内容が本文に明示されており、保健のウェブサイト動画や資料を見ることができ、基礎的基本的な知識が定着しやすくなるように工夫されている。 ○学習パターンを動機付けの「学習ゲーム」→「課題把握」→「課題解決学習」→「活用」→「まとめ」の5段階とし、スムーズに授業展開できるような構成になっている。 <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○「話し合ってみよう」では、児童が自身の生活を振り返り友達と対話を通して、相互に思考を広げていくように工夫され、児童が主体的に活動できる場面を多く設定している。 <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○単元の始めに見開き2ページのイラストからキャラクターを探す学習ゲームを取り入れ、そのキャラクターの様子が学習課題に繋がるよう設定されており、実生活に照らし合わせて考えていけるように工夫されている。 <健康・安全についての理解を深めるための工夫> ○各単元の「まとめコーナー」では、振り返りを行い、今後の生活に生かすために学んだ内容を活用し、深めることができるように工夫されている。 <生涯にわたって健康を保持増進する資質・能力を育成するための工夫> ○巻頭でアスリート等の「夢と健康」についての紹介や運動の例を示した資料を掲載する等、保健と運動との関わりを考えるよう工夫されている。 ○中学校の内容を「はってん」として掲載し、系統的指導の工夫がされている。</p>	
<p>資料</p>	<p>○各単元終末に「学んだことを活用しよう」「学んだことを深めよう」等自由記述欄が設けられ、自分の考えを発展させていく活動場面を設定している。 ○資料やミニ知識、ウェブサイト等が充実し、有効な資料も多い。 ○「熱中症」や「ASUKAモデル」「防災」等多くのタイムリーな健康課題を取り上げている</p>	
<p>表記・表現</p>	<p>○キャラクターを使用する等子共たちにとって親しみやすく、書体が大きく太く、色分けが見やすくユニバーサルデザインを意識した工夫がされている。 ○B5サイズでイラストや写真を中心としたレイアウトがされている。</p>	
<p>総括</p>	<p>○学習ゲームを導入したり、シール等使用した活動の場面を設定したりと意欲を喚起させることで知識理解を促すよう工夫されている。 ○話し合い活動を多く取り入れ、思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫がされている。 ○学習内容に関する新しい知識や補足の説明があり、基本的な学習内容の理解を深める工夫がされている。</p>	

種目（保健）

<p>書名</p> <p>項目</p>	<p>わたしたちの保健</p>	<p>207</p> <p>文教社</p>
<p>内容</p>	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <p>○学習指導要領に示された学習内容知識及び技能の大切な部分には、目立つように淡いオレンジ色の配色を使っており、基礎的基本的な知識が定着しやすくなるように工夫されている。</p> <p>○学習パターンを「動機ページ」→「考えてみよう」→「調べてみよう」「ふり返ってみよう」→「話し合ってみよう」の4段階とし、スムーズに授業展開できるような構成になっている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <p>○「話し合ってみよう」では、自分の考えを記入する欄が設けられ、自分の生活を振り返り、できていることをチェックする活動や友達への助言を記入することができるなどの工夫がされている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <p>○「もっとくわしく!」「もっと知りたい!」や情報コーナーでは、児童が関心をもって学べる情報が掲載され、「健康に過ごすために気を付けることを宣言する」欄も設け、自分の生活をよりよくするための工夫がされている。</p> <p><健康・安全についての理解を深めるための工夫></p> <p>○「新しい自分にレベルアップ」欄や「わたしの〇〇宣言」欄を設けることで、学習を深めたり、実生活に生きたりすることができるように工夫されている。</p> <p><生涯にわたって健康を保持増進する資質・能力を育成するための工夫></p> <p>○「生活の中で続けていける運動」の紹介等あり、保健と運動との関わりを考えるよう工夫されている。</p> <p>○中学校の内容を「はってん」として掲載し、系統的指導の工夫がされている。</p>	
<p>資料</p>	<p>○各単元の導入に動機付けページが掲載され、児童の学習意欲を喚起させ、主体的な学習になるような工夫がされている。</p> <p>○グラフや写真、イラスト、キャラクターの吹き出し等資料が豊富である。</p> <p>○「熱中症」や「ASUKAモデル」「防災」等多くのタイムリーな健康課題を取り上げている。</p>	
<p>表記・表現</p>	<p>○キャラクターを使用する等子共たちにとって親しみやすく、書体が大きく太く、配色が柔らかかでユニバーサルデザインを意識した工夫がされている。</p> <p>○A4サイズでイラストや写真を中心としたレイアウトがされている。</p>	
<p>総括</p>	<p>○QRコードを記載し、ホームページにアクセスできる仕組みを設け、児童へのメッセージや学びの補助としての情報が豊富である。</p> <p>○記述欄が豊富であり、自らの考えをまとめ振り返る場面が充実できるよう工夫されている。</p> <p>○「わたしの〇〇宣言」といった形で自分の考えを書くことで、実生活に生かせるよう工夫されている。</p>	

種目（保健）

<p>書名 項目</p>	<p>小学保健</p>	<p>208 光文</p>
<p>内容</p>	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○学習指導要領に示された学習内容が本文にまとめられており、各単元始めに学習課題について提示し、大切な部分が太字で記述され、基礎的基本的な知識が定着しやすくなるように工夫されている。 ○学習パターンをまずは実生活を見つめる「振り返り」→「学習課題」→「学習活動」→「まとめ」→「活用」と5段階とし、スムーズに授業展開できるような構成になっている。 <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○導入の問いや資料をもとに、調べる・考える・話し合うなど、多様な学習活動が設定されており、児童が課題を自分ごととして学び、友達に伝える活動ができるよう工夫がされている。 <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○学習したことを掘り下げて調べたいときには、活用できるwebサイトも用意しており、児童が興味関心をもって学び向かい、健康の保持増進を目指す態度を養えるよう工夫されている。 <健康・安全についての理解を深めるための工夫> ○「学んだことを生かそう伝えよう」では、学習を今後の生活にどう生かすかを自分なりの言葉で書けるよう工夫されている。 <生涯にわたって健康を保持増進する資質・能力を育成するための工夫> ○巻頭で、トップアスリートの言葉や運動についての資料やコラムを掲載することで保健と運動との関わりを考えるよう工夫されている。 ○「発展」で、中学校の学習内容を示し、系統的指導の工夫がされている。</p>	
<p>資料</p>	<p>○単元の導入に児童が共感できるような日常の場面を4コマ漫画で表現し、児童の意欲喚起を促す工夫をしている。 ○グラフや写真、イラスト、キャラクターの吹き出し等資料が豊富である。 ○「熱中症」や「ASUKAモデル」「防災」等多くのタイムリーな健康課題を取り上げている。</p>	
<p>表記・表現</p>	<p>○字体や色がとても見やすく、イラストのデザインも工夫され脚注、注釈によって理解を助ける配慮がされている。 ○A4サイズで写真やイラストが大きく表示されている。</p>	
<p>総括</p>	<p>○アスリートの言葉や資料が多数掲載され、児童が生涯にわたって健康を保持増進する資質・能力を育成できる内容になっている。 ○動画サイトや豆知識を記載し、インターネットを使って知識を深められるような工夫がされている。 ○学習内容を理解し、実生活と結びつけて健康・安全について理解を深める工夫がされている。</p>	

種目（保健）

項目	書名 みんなの保健	224 学研
内容	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○学習指導要領に示された内容が本文にまとめられており、学習課題として、「ここで学ぶこと」と明記し、大切な部分が太字で記述され、基礎的基本的な知識が定着しやすくなるように工夫されている。 ○学習パターンを「課題把握」→「学習活動」→「まとめ」→「活用」と4段階とし、「活用」を大きな紙面の見開き2ページにすることによりスムーズに授業展開できるような構成になっている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○「考える・調べる」の欄で、資料を読み取り、事例を探求分析し、「まとめる・深める」の欄で、学習したことを基に、自分の考えを記述し友達に伝え、表現力を育成させるための工夫がされている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○巻頭のページの「健康ってどんなこと？」といった疑問を児童になげかけることで、自身の健康に気付かせ、健康の保持増進を目指す態度を養えるよう工夫されている。</p> <p><健康・安全についての理解を深めるための工夫> ○「かがくの目」では、科学的な資料を用いて、学習内容が詳細に説明され、理解が深まるように工夫されている。</p> <p><生涯にわたって健康を保持増進する資質・能力を育成するための工夫> ○各章の末に「学習を振り返る」「学びを深める」「明日につなげる」では、健康の保持増進についての具体的な考えをもたせられるよう工夫されている。 ○発展資料に中学校の学習内容を示し、系統的指導の工夫がされている。</p>	
資料	<p>○各単元導入に、これから学習する内容について興味を引き出すイラスト付きの発問が大きな写真とともに掲載され、児童の学習喚起を促す工夫がされている。 ○グラフや写真、イラスト、キャラクターの吹き出し等資料が豊富である。 ○「熱中症」や「ASUKAモデル」「防災」等多くのタイムリーな健康課題を取り上げている。</p>	
表記・表現	<p>○キャラクターを使用する等子共たちにとって親しみやすく、書体が大きく太くルビがあり、ユニバーサルデザインを意識した工夫がされている。 ○A4サイズで写真やイラストが大きく表示されている。</p>	
総括	<p>○課題からまとめまでの流れがわかりやすく、児童が興味・関心をもてるよう、視覚的にわかりやすいグラフや図が掲載されている。 ○「ほけんの見方・考え方」では、保健学習の進め方が明記され、児童が見通しをもって主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。 ○考える・調べる・まとめるなどの記述欄が設けられ、知識の定着が図れるよう工夫されている。</p>	

種目（英語）

<p>書名 項目</p>	<p>NEW HORIZON Elementary English Course</p>	<p>2 東書</p>
<p>内容</p>	<p>＜知識及び技能が習得できるようにするための工夫＞ ○教科書とは別冊子でPicture Dictionaryが付属している。2年間を通して使用できるため、前学年の復習や自分の考え等をまとめる際、有効に活用できる。 ○音声から文字への段階的な指導を重視し、各単元が聞く、話す、読む、書くことの活動をそれぞれのアイコンで示し学習できるよう工夫している。</p> <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫＞ ○Enjoy Communicationでは、巻末カードで自己表現し、それを活用して友だちと共有するところまで網羅されており、児童の深い学びにつながる工夫がある。</p> <p>＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫＞ ○外国の生活や文化に関する写真や絵を豊富に掲載することで意欲を持って活動に取り組める工夫があり、各単元の最後に異文化理解のページも用意している。</p> <p>＜コミュニケーションを促す工夫＞ ○Enjoy Communicationでは日常場面が設定されており、3つのステップでコミュニケーションを段階的に身に付けさせるよう工夫されている。</p> <p>＜小学校外国語活動や中学校との円滑な接続＞ ○デジタル教材では、音声の速度が徐々に上がる等、学習段階に合わせたものになっているため、外国語活動や中学校との接続に十分配慮されている。</p> <p>＜学びの見通しと振り返り＞ ○巻頭ページにユニットごとの1年間の学習内容が示されている。Check your Stepsで単元毎に作成したカードを貼ることで振り返りができる工夫がされている。</p>	
<p>資料</p>	<p>○やり取りや発表をする場面のデジタル教材は、実際に小学生が活動に取り組んでいる動画により、会話のイメージが持ちやすく、円滑に活動に取り組むことができる工夫がなされている。音声のみも選択することができる。</p> <p>○紙面が上中下に三分割で統一されており、教えやすいレイアウト構成になっている。また、英文にイラストや写真が記載されており、内容を理解しやすい配慮がある。巻末カードがハサミを使わずに切り取れるので、使いやすい。</p>	
<p>表記・表現</p>	<p>○すべての児童にとって分かりやすく、児童が誌面でそのまま書くことができるアルファベットの書体にしている。4線ノートの幅や線の色合いにも配慮している。</p> <p>○5学年用では自分のことに置き換えられる部分に色の網掛け、6学年では語順を意識させるために主語と動詞で色違いの網掛けがあるなど、読むための工夫がある。</p>	
<p>総括</p>	<p>○学年ごとに設定されたテーマが分かりやすく、児童や教師にとって何ができるようになるのか、何を学ぶのかが明確である。デジタル教材やPicture Dictionaryは、実際に児童の活動例や2年間を通して使用できる等の工夫で、単元や小学校外国語科の見通しをもつことができ、児童の学習意欲向上につながる。</p>	

種目（英語）

<p>書名</p> <p>項目</p>	<p>Junior Sunshine</p>	<p>9</p> <p>開隆堂</p>
<p>内容</p>	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <p>○導入ページでは、児童にとって身近な語彙を聞かせ、会話活動へ無理なくつなげている。各単元のチャンツにたくさんのイラストがあり、語彙を自主学習できる。</p> <p>○デジタル教材の音声ははっきりと聞き取りやすく、音声に慣れ親しむために、十分考慮された速度で読まれている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <p>○各単元の最後にLet's Tryが設けられており、単元を通して身に付けた知識・技能を活用して実際のコミュニケーションを図るよう配慮されている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <p>○自国の文化や事柄について多く取り上げ、かつ、児童の日常生活に即した題材が多く、文化の相違に気が付き、理解を深める工夫がなされている。</p> <p><コミュニケーションを促す工夫></p> <p>○各単元のLet's Playで、学んだ英語を使ってコミュニケーションを図る場面がわかりやすく示されており、単元最後のLet's Tryでの発表につながられている。</p> <p><小学校外国語活動や中学校との円滑な接続></p> <p>○6年生のふろくには「中学校へつなげよう」というコーナーがあり、日本語との語順の違いや過去形について取り扱い、気づきにつなげる工夫がされている。</p> <p><学びの見通しと振り返り></p> <p>○巻頭のCAN-DOマップにより、1年間の見通しを持って学習することができる。また、発展的な振り返り学習ができるように「チャレンジコーナー」が設けられている。</p>	
<p>資料</p>	<p>○スポーツで活躍する選手を紹介したり、自分の将来の夢を紹介したり、子供達に身近な話題を取り上げるなど、実生活に即した生きたコミュニケーションを意欲的に取れるような工夫がされている。</p> <p>○導入ページや中ページのリスニングイラストの配置に統一性があるため見やすい。また、「書くこと」を系統的に学習できるよう、単元と対応した「文字に慣れよう」のコーナーがある。書き込みしやすいように、用紙を変えている。</p>	
<p>表記・表現</p>	<p>○4線ノートは、基線以外は点線で薄く目立たないようにしているので、書いた文字ははっきりと見えやすいよう配慮されている。</p> <p>○会話例文に青い下線があり、自己表現しやすい工夫がある。各単元で、ペアワークやグループワークの際に活用できる表があり情報を整理しやすい。</p>	
<p>総括</p>	<p>○「書くこと」「読むこと」の領域が単元の中以外にも、独立して系統立ててあるため、外国語科で初めて領域に含まれる「書くこと」「読むこと」の基礎を養う工夫がされている。また、自国の文化や地域について多く扱うことで、その良さに気づき、他国との文化等の違いに気が付くことができるよう工夫されている。</p>	

種目（英語）

<p>書名 項目</p>	<p>JUNIOR TOTAL ENGLISH</p>	<p>11 学 図</p>
<p>内 容</p>	<p>＜知識及び技能が習得できるようにするための工夫＞ ○lessonごとに学習の進め方が決まっており、かつ、取り扱う英語表現も絞ってあるため、児童・教師とも学びに見通しをもつことができるよう工夫されている。 ○歌やチャンツなど、音声に慣れ親しむ活動が多く取り入れられている。何度も繰り返し聞くことで、日本語との違い等に対する気づきを大切にしている。</p> <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫＞ ○各lesson末にあるUse&Checkでその単元の目標を達成するための表現活動が設けられており、実際のコミュニケーションへとつなげる工夫がされている。</p> <p>＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫＞ ○異文化理解を促す題材や日本の伝統文化を紹介する題材、世界とのつながりを感じられるストーリーなどを通して児童の興味をひく工夫がされている。</p> <p>＜コミュニケーションを促す工夫＞ ○年2回Project Timeが設定されており、今まで学んだことを使ってプレゼンテーションややり取りを行う活動が設定されている。</p> <p>＜小学校外国語活動や中学校との円滑な接続＞ ○5年生のPre-lessonで3，4年生の学習内容をまとめて復習し、6年生では最後のlessonとコラムで中学校へ接続できるよう工夫されている。</p> <p>＜学びの見通しと振り返り＞ ○各lessonの扉に目標と学習の進め方が記載されており、まとめには、Use&Check、Check Timeがあり、学習の成果を振り返ることができる。</p>	
<p>資 料</p>	<p>○Lessonごとの扉絵には文字が少なく、一つ一つの絵が大きく分かりやすく描かれており、絵には様々な情報が掲載されているため、多様な導入を展開することができる。イラストやデジタル教材の音声から、内容を推測するように工夫されている。 ○巻末には、毎回の授業で使用する歌集やイラスト付き「Word List」、練習用の4線ノート、ローマ字表がある。5年生には「世界の友達」、6年生には「英語で発表できるようになったよ！」で日本地図を掲載している。</p>	
<p>表記・表現</p>	<p>○Small Talkの活動では、自己表現を行う際に、Word Listを活用できるようにページ数とジャンルが表記されている。 ○ユニバーサル4線を採用しており、基線のみ濃い灰色で、残りの線は薄い。なぞり書きの書体は太く、なぞり書きしやすいよう配慮されている。</p>	
<p>総 括</p>	<p>○5年生と6年生で同じ表現の題材を変えてスパイラルに学習できる仕組みになっている。また、児童の生活の実態にあった単元構成となっており、前半は、自己紹介の表現を豊かにさせるとともに、相手のことをたずねる表現が多い。後半は夏休みのことから自分の町紹介や道案内、未来へ向けて視野を広げていく内容となっている。</p>	

種目（英語）

<p>書名 項目</p>	<p>CROWN Jr.</p>	<p>15 三省堂</p>
<p>内容</p>	<p>＜知識及び技能が習得できるようにするための工夫＞ ○導入時に取り扱ったイラストから、重要表現をSpotlightとして毎時間取り扱い、繰り返し英語表現を使用する工夫がされている。 ○Sound Chantや Word Chantで音声と語句の結びつきや絵との関連で語彙を習得しやすくする工夫がなされている。 ＜思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫＞ ○Stepで学習した内容をまとめたプロジェクト型活動JUMPが年3回取り上げられている。手立てが明確に示されており、段階的に進められる。 ＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫＞ ○「この日本語、どこから来たの？」のように、日本語の背景にある文化や、言語と文化の結びつきについて分かりやすく取り扱っている。 ＜コミュニケーションを促す工夫＞ ○各Stepに1回、Talk to Friendsでスモールトークができ、友だちと目標文を使って会話がしやすいよう配慮されている。 ＜小学校外国語活動や中学校との円滑な接続＞ ○外国語活動で学習したことや、5年生で学習したことを振り返るページが設定されている。 ＜学びの見通しと振り返り＞ ○Hop Step Jumpの1Unit構成で振り返りがしやすく、児童が単元を通して目標を持つことができ、見通しがもちやすい工夫がされている。</p>	
<p>資料</p>	<p>○日本語での問いかけも多く、児童がしっかりと活動内容を把握できる工夫がされている。また、巻末には「CAN-DO」リストやアルファベットの復習コーナー、単語リストがある。さらに、他国の文化に触れられるように読み物教材が配置されている。 ○パノラマのページは、その単元で扱う言葉が網羅されており、Small Talk等導入部分で多様な活動が展開できる工夫がされている。また、双方向のコミュニケーション活動のために巻末のカードを活用できる。</p>	
<p>表記・表現</p>	<p>○全体的に長い説明がなく、指示文等が簡潔で読みやすい。背景が白で統一されており、見やすい作りになっている。 ○巻末のWords&Phrasesやワークシートでは基線が太く濃い青色ではっきりとわかるようになっている。</p>	
<p>総括</p>	<p>○教科書全体をHOP、STEP、JUMPで学ぶプロセスを「見える化」し、授業づくりがイメージできる構成となっている。聞く、話す活動を多く取り入れることで、確かなコミュニケーションを育成する配慮がなされている。また、イラストや写真、文字の情報が絞ってあるため、児童が活動に取り組みやすい工夫がされている。</p>	

種目（英語）

<p>書名 項目</p>	<p>ONE WORLD Smiles</p>	<p>17 教出</p>
<p>内容</p>	<p>＜知識及び技能が習得できるようにするための工夫＞ ○音声事項については、単元ごとにあるSounds and Lettersで、日本語との違い、音声と文字との関連、強勢等についてバランスよく取り上げている。 ○「聞く」活動を多く取り入れており、インプットを基盤にして、5領域の力が段階的に育まれるよう配慮されている。</p> <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫＞ ○各単元末のFinal Activityでワークシートなどを活用し、児童自身の考えや気持ち、興味関心があることや経験等を発信することができるように工夫されている。</p> <p>＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫＞ ○「好きな日本文化」等自国の伝統文化について改めて深く考えることで、自国を愛することや他国の文化についての気づきを深める工夫がされている。</p> <p>＜コミュニケーションを促す工夫＞ ○どの単元でもFinal Activityでは話す領域の活動が設定されており、友達と伝え合ったり、自分のできることを発表したり意図的に取り入れる工夫がされている。</p> <p>＜小学校外国語活動や中学校との円滑な接続＞ ○5年巻頭のLet's Start Togetherで外国語活動の内容を振り返ることができ、6年最後の単元では、My Bookを作成することで、中学校への接続が図られている。</p> <p>＜学びの見通しと振り返り＞ ○各単元にReviewがあり、十分な振り返りができる。また、Final Activityのワークシート裏にも活動自体の振り返りがあり、自己評価ができる工夫がある。</p>	
<p>資料</p>	<p>○巻末の付録が豊富で、シールや絵カード、ワークシートがついており、すぐに活動に取り組めるようになっている。また、ワークシートを使って活動するページには、例示も記載されており、取り組みやすくなっている。</p> <p>○話題の人物の写真が多く取り上げられており、また写真もイラストも大きめにデザインされていてとても見やすい。さらに、国語や道徳で児童になじみのある題材が取り上げられている。</p>	
<p>表記・表現</p>	<p>○絵や写真の上に文字が重なる場合は、文字の部分が白抜きになっており、文字を識別しやすいよう配慮されている。</p> <p>○教科書裏に名前を書く箇所も4線になっており、習ったことを活かせるようになっている。基線のみ青で、他の線は薄くなっている。</p>	
<p>総括</p>	<p>○コミュニケーション活動に主体性を持たせるための気づきを促す活動が取り入れられており、自他の敬愛と協力を重んじる態度を養う工夫がされている。また、自国の文化について扱う単元が多く、改めて自国の文化の良さや伝統に気が付き、他国との違い等に気づくことができるように工夫されている。</p>	

種目（英語）

<p>書名</p> <p>項目</p>	<p>Here We Go!</p>	<p>38</p> <p>光村</p>
<p>内容</p>	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <p>○各単元において、明確な場面設定とストーリー性がある。それぞれのレッスンで Let's listenの前にLet's watchがあり、視覚的に学習内容を把握できる。</p> <p>○Let's playで語彙のインプットを図り、Let's tryでアウトプットが設定され、段階的にやり取りができるよう配慮されている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <p>○各単元がHop、Step、Jumpという共通した構成となっており、基礎的な知識・技能の習得と活用から思考力・判断力・表現力を養う言語活動へつながっている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <p>○「世界の友達」では、多様な文化や価値観に触れ、英語を使うことの楽しみや、同年代の世界の児童の姿が、学習意欲を高めることにつながっている。</p> <p><コミュニケーションを促す工夫></p> <p>○各単元にYou can do it!が設けられており、単元で学習した知識・技能を活用して実際のコミュニケーションが図られるように工夫されている。</p> <p><小学校外国語活動や中学校との円滑な接続></p> <p>○5年生では、Let's startにて外国語活動で学んだことが振り返ることができる。6年生の最後には、学びのパスポートで中学校の活動に生かせるよう工夫している。</p> <p><学びの見通しと振り返り></p> <p>○各単元ははじめの扉にゴールとスモールステップが明示されている。また、それぞれのレッスンで達成する目標が日本語で書かれており、目的意識がもてる。</p>	
<p>資料</p>	<p>○巻末資料が豊富であり、絵辞典、絵カード、ホワイトボード式ノート、すごろく、シール、1年間の振り返りワークシート、ローマ字表（ヘボン式）と多種多様であり、様々な活動に使用できる。</p> <p>○教科書の横幅が広く作られている。そのため、長い英文でも1行に収まるように配慮されている。また、ゆとりをもって英文を書くことができ、語順をとらえやすくなるよう工夫されている。</p>	
<p>表記・表現</p>	<p>○絵の中に、文字がある場合読みやすいように、白く色抜きすることや、原色は色味を押さえている等、配慮されている。</p> <p>○アルファベットについては、児童が学習しやすい4線の幅に対応した新しく開発した独自のフォントを使用している。</p>	
<p>総括</p>	<p>○教科書が、Hop、Step、Jumpの流れとなっており、ゴールまでの流れが見える単元構成となっており、聞く活動から始まり、話す活動を経て、読む・書く活動へ、無理なくスモールステップで進められるよう配慮されている。また、取り上げる国も偏りがなく、多様な文化や価値観に触れることができる。</p>	

種目（英語）

<p>書名 項目</p>	<p>Blue Sky elementary</p>	<p>61 啓林館</p>
<p>内容</p>	<p>＜知識及び技能が習得できるようにするための工夫＞ ○教科書の記述欄が4線でなく、空枠のものが多く、英語と日本語どちらでも、児童の実態に合わせて書けるように工夫されている。 ○Word list等についているQRコードから読み取ることができる動画は速度を変えることができ、児童の実態に合わせて選択することができる。 ＜思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫＞ ○年3回のREVIEWには、既習事項を使って場面や状況に応じて考え、判断し、表現する活動を設定し、思考マークを付け深い学びへとつなげている。 ＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫＞ ○振り返りのLooking Backで、「英語で言いたいけど言えなかったこと」「もっと知りたいこと」を記入する欄があり、児童の思いをすくい上げる工夫がある。 ＜コミュニケーションを促す工夫＞ ○各Partのリスニング、チャンツ、アクティビティで使用する表現がわかりやすく統一されているので、児童が取り組みやすいよう配慮がされている。 ＜小学校外国語活動や中学校との円滑な接続＞ ○6年生の最後のUnitではお礼の手紙を書く等、小中連携を意識した活動を取り入れている。また、外国語活動や5年生との円滑な接続のために、Pre Unitがある。 ＜学びの見通しと振り返り＞ ○各単元の扉絵には目標が書かれており、最後にはLooking Backの振り返りがあり、学びの見通しと振り返りができるように配慮されている。</p>	
<p>資料</p>	<p>○なぞり書きの色が濃く、四線と同化していないため、なぞりやすいよう配慮されている。また、なぞり書きやその前後の英語表現は太い書体で書かれているため、認識しやすい配慮がされている。 ○大きなAB判型を採用してイラストや写真を効果的に掲載することで学習効果が上がるよう配慮している。ページは広く開けられるように工夫されている。また、巻末には切り取りやすい多くの種類の単語カードが付けられている。</p>	
<p>表記・表現</p>	<p>○児童にとって識別しやすいUDフォントを使用している。また、行間にゆとりを持たせ、文章が読みやすくなるように配慮している。 ○イラストにおいて、原色等は色味が押さえてあり、文字の下は白抜きしてある等、どの児童においても見やすいように工夫されている。</p>	
<p>総括</p>	<p>○やり取りをする際に必要な自分の考えや気持ちを明確にするために、教科書への記述欄が多く設けられている。また、聞く活動を多く取り入れ、十分に音声に慣れ親しむことができるように配慮されている。付属の動画は、再生速度を変更することができる。さらに、各単元の最後には、異文化理解を深めるコラムがある。</p>	

種目（ 道 徳 ）

<div style="text-align: center;">書名</div> <div style="text-align: left;">項目</div>	新しい道徳	2 東 書
内 容	<p><道徳科の目標に関わる工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○巻頭に、道徳の授業の流れを分かりやすく示し、児童が主体的に学ぶことができるように工夫されている。 ○どの教材も、「こころん」というキャラクターの問いかけから授業が始まるようになっている。教材の目標を、分かりやすい質問にして投げかけている。 ○「学習の振り返り」のページでは、その日に学習した内容を短時間で振り返ることができるようになっている。自分自身の成長を確認することができる。 <p><現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○いじめ問題を、ユニット式の教材として全ての学年において重要事項として取り上げている。直接的教材、間接的教材と連続した取り扱いになっている。 ○全学年で情報モラルを取り上げている。テレビゲームやスマートフォンなど、発達の段階に即した系統的な視点や題材を扱っている。 <p><発達の段階に即しつつ、深く考えることができ、ねらいを達成する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○低学年では、身近な問題をテーマに考える教材が多く、高学年になるにつれて、自分の内面と向き合う教材が多く配置されている。 ○低学年では入学前後の生活を取り上げ、高学年では中学校や将来について考えることを促す活動を取り入れる等、幼・小・中の連携を図っている。 <p><「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○様々な書き込みページを設定している。低学年ではゲーム的な要素を組み入れた活動型教材により、多様な考えを引き出せるようになっている。 ○扉のページでは、はっとさせる言葉で問題意識を深めている。低学年では、身近な生活場面から問題解決的な学習ができるような教材を載せている。 	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ○東京オリンピック・パラリンピックに触れた教材を扱い、関心を高めるとともに、自分の個性や生き方について考えを深めることができる。 ○幅が広めのAB判を採用しているため、挿絵や写真を大きく掲載でき、また、行間にゆとりがあり文章も読みやすい。 	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○資料の状況が細かく描写されている。文字数が多いが、5行毎に数字を表記したり、低学年では文節毎の改行としたり、文章の意味が捉えやすい工夫がされている。 ○内容項目の4つの視点について、マークを色分けして示している。教材のタイトルにはマークと合わせて、内容項目を解りやすい言葉で示している。 	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> ○問題解決的な学習に適した教材は、3年生以上に掲載し、低学年では身近な生活場面から問題解決的な学習ができるようになっている。発達段階ごとに考えを深めることができるように工夫され、考え、議論する道徳につなげることができる。また、本編内の「つながる・広がる」では、他の教科との関連を明示し、道徳の授業のみならず、全ての教育活動における道徳教育の推進につなげていくことができるようになっている。 	

種目（道徳）

<p>書名 項目</p>	<p>かがやけ みらい 小学校 道徳 きづき かがやけ みらい 小学校 道徳 まなび</p>	<p>11 学 図</p>
<p>内 容</p>	<p><道徳科の目標に関わる工夫> ○教材に関する発問だけでなく、今後の生活や内容項目の捉え方に関する質問があり、自分のこととして捉えられるようになっていく。 ○ノートに他者の考えを書く欄を用いるだけでなく、内容項目ごとにノートが分かれているので、過去の自分と今の自分の考えを比較することができる。 ○教科書のはじめに、どう考えたらよいかを道しるべとして載っているため、授業に入りやすい。 <現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫> ○スマートフォンやゲーム等の使用について、子どもたちが陥りがちな内容として低学年（2年生）から話題に取り上げられている。 ○いじめ防止につながる教材を、様々な内容項目で取り上げ、多面的・多角的に考えられるように工夫されている。 <発達の段階に即しつつ、深く考えることができ、ねらいを達成する工夫> ○学年が上がるにつれて発問も変わっていき、低学年では自我関与させていく発問が多く、価値の本質を捉えられるようになっていく。 ○コラム等で先人の生き方を見て、自己を振り返る機会がある。詩や名言がノートにたくさん載っており、内容項目への意識づけがなされている。 <「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫> ○自分の考えと友達の考えを書く欄があり、友達の考えを聞き、多様な考えに触れながら自己の考えを深められるよう工夫されている。 ○ノートには、教材の他に、価値に関する問いかけがある。教科書は読み物教材で構成され、ノートに内容項目に関する体験を書く欄が用意されている。</p>	
<p>資 料</p>	<p>○教材として、物語以外にも、偉人の話、最近の出来事、最近活躍したスポーツ選手の話など、内容が多岐にわたっている。 ○挿絵を小さくし、文章によく目が行くように工夫されている。また、挿絵には、抽象的な絵もあり、想像しながら読むことができる。</p>	
<p>表記・表現</p>	<p>○1年生は分かち書きで書かれている。難しい用語の説明は、必要なものに関しては本文中で説明されている。人の名前の読み仮名は、簡単なものでも繰り返し表記されている。 ○教材にはマークのみで内容項目が示されている。ノートは、内容項目ごとに分けられており、複数の教材により価値を深められるようになっていく。</p>	
<p>総 括</p>	<p>○教科書は内容項目ごとではなく様々な視点から学習できるようになっているが、ノートが内容項目ごとでまとめられているので、過去の自分の考えと今の自分の考えが比較でき、同じ内容項目でも多面的・多角的に考えることができるようになっていく。発問は教材に関する発問と自分事として捉えるための発問が1つずつ載っているため、内容項目に関して具体的なところだけでなく、一般化を図ることにつながっている。</p>	

種目（道徳）

<p>書名 項目</p>	<p>小学道徳 はばたこう明日へ</p>	<p>17 教出</p>
<p>内容</p>	<p><道徳科の目標に関わる工夫> ○巻頭に学年に応じた道徳学習のオリエンテーションで使える「道徳開き」「学びのガイダンス」が掲載され、一年の見通しをもてるようになっている。 ○1年間で心に残った学習を記入する「一年間の道徳の学習を振り返ろう」では、自分の成長を感じたり、新たな課題を考えたりすることができる。 ○導入におけるキャラクターからの問いかけによって、これから取り組む授業の内容を図ることができ、児童の興味・関心を高められるようになっている。 <現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫> ○「いじめをなくす」「生命の尊重」「情報モラルを考える」の3点を重点テーマとして位置づけ、該当教材には色別のマークを付して明確にしている。 ○いじめ問題と向き合う教材を各学年で取り扱うことで、児童が主体的に考えを深められるよう工夫されている。 <発達の段階に即しつつ、深く考えることができ、ねらいを達成する工夫> ○低学年では物語教材、中学年では生活教材、高学年では人物の生き方というように、発達段階に合わせて取り上げるものを工夫している。 ○現在活躍する人や日本社会の発展に貢献した人を教材として扱うことで、自己の生き方について考えを深められるようになっている。 <「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫> ○各教材の終わりに「考えよう」「深めよう」といった「学びの手引き」を設け、道徳的価値についての学びを深められるようにしている。 ○各学年に「スキル（やってみよう）」を配置し、動作化や役割演技を通して、人としての行動について考えを深められるよう工夫している。</p>	
<p>資料</p>	<p>○学習しやすいよう、AB判の大きさと、イラストや写真、図版を大きく掲載している。 ○絵本や詩、スポーツ選手や伝記などを扱った本教材30本に加え、補充教材を4～5本掲載し、内容項目ごとに教材をまとめている。</p>	
<p>表記・表現</p>	<p>○カラーユニバーサルデザインに配慮し、色覚の個人差を問わず判別しやすい色彩になっている。視認性の高いフォントを使用し、はっきり文字認識できるようにしている。 ○学習指導要領の4つの視点を目次では色分け、それぞれの教材ではマークを付し、索引では色分けと分類をして掲載している。</p>	
<p>総括</p>	<p>○各学年、本教材の他補充教材が充実している。「考えよう」「深めよう」では、児童が考え議論する中で道徳的価値についての学びを深められるようになっている。「つなげよう」では、日常生活や他教科とつなげて考えられるよう工夫されている。AB版にすることで写真や絵が見やすく、内容理解の助けとなるように工夫されている。一年間の振り返りを記録することで自分の一年の成長を感じることもできるようになっている。</p>	

種目（ 道 徳 ）

<p>書名 項目</p>	<p>道徳 きみが いちばん ひかるとき</p>	<p>38 光 村</p>
<p>内 容</p>	<p><道徳科の目標に関わる工夫> ○その時間のねらいが初めに、考えてほしいことが「考えよう・話し合おう」として最後に掲載され、対話から深い学びにつなげることができる。 ○教材とコラムを組み合わせたユニット教材を配置することによって、物事を多面的・多角的に考えることができる。 ○学習のまとまりごとに学んだことを記録する「学びの記録」を設け、自分の成長を自覚し、新たな課題を考えられるようになっている。 <現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫> ○情報を課題とした題材では、学年に応じた題材を段階的に取り上げることで情報機器に向き合う上での規則や節度について学べるようになっている。 ○いじめを扱う題材が全体的に前半に配置されており、実生活に結び付けやすく、コラムがあることで、多面的に考えることができる。 <発達の段階に即しつつ、深く考えることができ、ねらいを達成する工夫> ○同じ内容項目を扱うものは、学年の発達段階に合わせて内容や分量、世界の広がりなどに傾斜をつけて配当している。 ○1年間を3つのまとまりとし、その中により小さなテーマを設けている。カリキュラム・マネジメントを意識しており、実態によって入れ替えができる。 <「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫> ○教材の初めと終わりのキャラクターによる問いかけで、考えを深めたり、表現したり、言語活動を活発にすることができるように工夫されている。 ○各学年に「演じて考えよう」「心を通わそう」を配置することで、体験を通して考えることができる。</p>	
<p>資 料</p>	<p>○読み物教材のほかにも、視覚的に児童の興味・関心を喚起する漫画形式の教材、見開き一枚絵などから考える教材が配置され、親しみやすくなっている。 ○教材の理解を助け、イメージを広げる絵や写真を適所に配置し、内容を解説する写真や図・グラフを必要個所に付すことで本文の理解を助けている。</p>	
<p>表記・表現</p>	<p>○1学年では、文節分かち書き、2学年では、3文節程度の分かち書きをすることで、児童の読みの負担を軽減する配慮がされている。また、その学年で学習する漢字にはすべてふりがなを付している。 ○教材ごとに学習指導要領の4つの視点がマークで示され、索引は、4つの視点と内容項目で分類されている。</p>	
<p>総 括</p>	<p>○「考えよう・話し合おう」が設けられていることで、授業で考えることが明確になり、主体的に学ぶことができる。「学びの記録」で毎時間振り返りができ、児童自身が自分の成長を振り返ることができるようになっている。読むことを苦手とする児童に対する工夫がされ、読む負担を軽減し、内容理解を助けている。教材から正解を導かないよう、定番教材の文章からヒントとなりすぎる部分は削除・変更し、正解を求める授業にならないようにしている。</p>	

種目（道徳）

<p>書名 項目</p>	<p>小学道徳 生きる力 小学道徳 生きる力 道徳ノート</p>	<p>116 日 文</p>
<p>内 容</p>	<p><道徳科の目標に関わる工夫> ○考えを引き出すために、全教材に発問の流れを提示している。別冊「道徳ノート」の記述欄では多面的・多角的な考えをもてるようにしている。 ○巻頭のオリエンテーションのページと「道徳ノート」巻頭の「自分のことを書いてみよう」を活用することで、自己を見つめられるようにしている。 ○「道徳ノート」を活用することで、児童が自ら振り返って成長を実感でき、教師にとっても道徳性に係る成長の様子を把握できるようにしている。 <現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫> ○「いじめ防止」を最重要テーマとして、集中的に学習できるようにするために、複数の教材を配置した「ユニット形式」で構成している。 ○情報モラルについては、特に高学年において教材と関連付けながら体験的に学ぶ「心のベンチ」を掲載している。 <発達の段階に即しつつ、深く考えることができ、ねらいを達成する工夫> ○「生命の尊さ」を重点項目とし、各学年2教材以上掲載している。低学年は生命の誕生や成長、中学年以上は震災や戦争等の教材を取り上げている。 ○中学年、高学年で、スポーツ界で活躍する人物や偉人を題材とした生きる喜びや勇気を与える教材を掲載している。 <「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫> ○特設ページ「心のベンチ」を配置し、道徳的価値をより深く、多面的・多角的に考えられるようにしている。 ○「道徳ノート」が別冊になっており、教材ごとに書くことができるようにしている。児童が自分を見つめ、成長が実感できるようにしている。</p>	
<p>資 料</p>	<p>○「学習の手引き」に多様な学習ができるように、学びの参考例を示している。また、実在する人物や漫画のキャラクターから学ぶ教材がある。 ○大きな写真、アニメ風のイラストや漫画形式など臨場感のある挿絵を掲載し、カラーユニバーサルデザインに配慮している。</p>	
<p>表記・表現</p>	<p>○低学年は、分かち書きをしている。1年生は、漢字とカタカナにルビを付けている。当該学年以上の漢字には、ルビを付けている。難解な言葉や必要な情報は頭注で解説している。 ○教材ごとに学習指導要領の4つの視点をマークで示している。目次は視点ごとに色分けし、索引は視点と内容項目ごとに分類して示している。</p>	
<p>総 括</p>	<p>○「道徳ノート」には、教材ごとに学習内容が書き込むことができるようになっており、指導や評価の参考となるとともに、保護者との連携を図れるようにしている。「心のベンチ」や「学習の手引き」では、問題解決的な学習や体験的な学習を取り入れ自分の考えを広げたり、道徳的価値の理解を深めたりすることができるようにしている。大きな写真、アニメ風のイラストや漫画形式の挿絵が掲載され、実在する著名人を題材とする教材を取り上げている。</p>	

種目（道徳）

<p>書名 項目</p>	<p>小学道徳 ゆたかな心</p>	<p>208 光文</p>
<p>内 容</p>	<p><道徳科の目標に関わる工夫> ○児童に寄り添うキャラクターを設定し、共感や気づき、物事を多面的・多角的に考えるためのもの見方やポイントを問いかけている。 ○問い・深める・まとめる・広げるまでを教材ごとに表記しており、読み物としての資料も多い。自分一人での学びも可能となっている。 ○終末では学習内容を振り返るポイントが示してある。自分の考えをまとめる活動を通して学んだ価値を自分との関わりで考え発展させることができる。 <現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫> ○全学年発達段階に応じて「コラム」を配置し、いじめ問題についても、児童がよりよい学校生活を送るために大切なことを考えられるようにしている。 ○スマートフォンやSNSの良い面、悪い面の両面を考え、発達段階に即した情報モラルを学べるよう工夫されている。 <発達の段階に即しつつ、深く考えることができ、ねらいを達成する工夫> ○低学年は、写真や絵などを効果的に取扱い、じっくりと資料の状況を想像して考えることができる。 ○重点項目については、連続して同じ価値を取り上げ、考えがより発展的なものになるような教材の並べ方をしている。 <「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫> ○地域の実態に応じた教材が充実している。埼玉県に関わる人や場所、伝わる文化を収録しており、身近な題材で深く考えられるようになっている。 ○導入が工夫されている。問題意識を持って授業に臨むことができるよう、冒頭で様々な問いが投げかけられている。</p>	
<p>資 料</p>	<p>○教材の条件・状況を分かり易くするために、教材の最初に、その話の中に出てくる登場人物を並べて表示しており、資料渡しがし易い工夫が見られる。 ○A4変形版で紙面が大きく、スペースに余裕があって見やすい。挿絵が多く、状況を想像し、じっくりと読むことができるようになっている。</p>	
<p>表記・表現</p>	<p>○漢字は前年度までに習ったものの使用を基本としている。また、3年生までは全ての漢字にルビをふっている。低学年には、文節で改行を行い、読みやすさに配慮されている。難解な語句にも注釈がある。 ○目次が、内容項目ごとに色分けされている。また、マークや、様々なアイコンの説明も丁寧に目次で解説してある。</p>	
<p>総 括</p>	<p>○ICTの活用ができるデジタルコンテンツが充実している。これらを使うことで、内容をより深めることができる。また、ただ教材を読むだけではなく、学習の最初に、常に「問い」をもって授業に臨むことができるため、主体的な学びを可能にする。書き込みが可能なページが多く、自分の考えを表現し、学びの足あとを残すことができ、自分自身が成長を実感し、新たな課題を見つけていくことができる。</p>	

種目（ 道 徳 ）

<p>書名 項目</p>	<p>新・みんなの道徳</p>	<p>2 2 4 学 研</p>
<p>内 容</p>	<p><道徳科の目標に関わる工夫> ○主題名が、教材の中に記されていないことで、児童が自ら問題意識をもち、他者との対話の中や、自己との関わり中から、考えることができる。 ○教材に「高めよう」という項目があり、教材に関する具体的な内容だけでなく、これからの自分に関わることについても考えることができる。 ○複数の教材から考えたことを書くページがあり、その授業だけで終わらず、その後どう考えているのか、自己を振り返る機会がある。 <現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫> ○情報モラル教育に関して、低学年から話題として取り上げ、考えられるようになってきている。また、内容も現実的な課題に基づいている。 ○話合いの流れや議論の仕方が教材に合わせて載っているところがあり、はじめて学習するにあたって見通しがもてるようになってきている。 <発達の段階に即しつつ、深く考えることができ、ねらいを達成する工夫> ○年度当初と年度終わりに自分の生き方について考えるところがあり、学びの足跡が残るように工夫されている。 ○低学年では、気持ちを考えたり実践的な面での行動を問われたりすることが多いが、高学年ではその内容項目について一般化を深めるような問いが多い。 <「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫> ○教科書に2つずつ発問が載っており、話し合うことが明確なので、活動につながりやすい。教材とは別に内容項目について考え、書くところがある。 ○問題解決的な学習の仕方が載っており、どう話し合わせるかが明確になっている。</p>	
<p>資 料</p>	<p>○各学年共通の登場人物が出ており、教材に入りやすくなっている。最近活躍した人物の話や、子どもたちが陥りやすい現代の課題に関する話が多々ある。 ○教科書が大きく、その分挿絵も大きくて見やすくなっている。教材によっては、写真を使用したり、1ページに何個も挿絵を入れたりしている。</p>	
<p>表記・表現</p>	<p>○1年生は、分かち書きで書かれている。学習していない文字や特別な読みをする文字に関しては、繰り返し出てきても読み仮名が表記されている。難解な語句や必要な情報は、脚注で解説されている。 ○内容項目がマークで示されているだけでなく、文字でも明記されている。また、目次はページ順と、内容項目ごとの二種類があり、わかりやすい。</p>	
<p>総 括</p>	<p>○教科書に載っている発問は、内容項目に則した教材から考えるものが多いが、改めて問いかけるページが多くあり、内容項目について深く考えることができる。また、学年が上がるにつれて、話合いの視点が自分事として捉えることができるようになっていて、自己の生き方を見つめることにつながる。話合いの観点や方法、話合いの主となる発問も明記されているため、考え、議論する道徳につなげることができる。</p>	

種目（道徳）

<p>書名 項目</p>	<p>みんなで考え、話し合う 小学生の道徳 自分を見つめ、考える 道徳ノート</p>	<p>232 廣あかつき</p>
<p>内容</p>	<p><道徳科の目標に関わる工夫> ○教材の初めに主題、末尾に「考えよう 話し合おう」を設置し、学習の道筋を示したり、学習を広げたりできるようにしている。 ○巻頭に道徳の時間の学び方を紹介するページがあり、児童が問題意識をもって主体的に取り組めるようにしている。 ○道徳ノートに記述したり振り返ったりすることで、児童が成長したり、課題や目標を見つけたりすることができるようにしている。 <現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫> ○「生命の尊さ」に重点を置き、全学年3教材を配当している。また、いじめ問題に関わる題材を、発達段階を考慮して各学年に掲載している。 ○情報モラルについて考えることのできる教材を全学年掲載し、中・高学年では特集ページを設け、折に触れて活用できるようにしている。 <発達の段階に即しつつ、深く考えることができ、ねらいを達成する工夫> ○「善悪の判断、自律、自由と責任」など、生きる上で、基盤となる道徳的価値観を形成できるような教材を全学年それぞれ3教材配当している。 ○すべての学年において、偉人やスポーツ界で活躍する人物を題材にした生きる喜びや勇気を与える教材を掲載している。 <「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫> ○教材ごとに「考えよう 話し合おう」を配置し、児童が主体的に思考を深めたり、積極的に話し合いを深めたりできるようにしている。 ○道徳ノートには、話し合い活動の記録のページを設け、話し合い活動において積極的に他者と意見を交流することができるようにしている。</p>	
<p>資料</p>	<p>○一枚の写真や一編の詩、漫画や新聞記事をもとに考える教材がある。先人の伝記や児童が知る著名人、スポーツ選手を扱った教材が掲載されている。 ○教材に関連した知識理解や人物紹介、格言や本の紹介が掲載されている。また、別冊巻末に折り込みとして「心のしおり」が用意されている。</p>	
<p>表記・表現</p>	<p>○低学年は、分ち書きにしている。1年生は、カタカナと漢字すべてにルビを付けている。2年生以上では、未習の漢字全てにルビを付けている。難解な言葉や必要な情報は脚注を付けている。 ○教材ごとに学習指導要領の4つの視点で色分けをして示している。巻末の索引は、4つの視点と内容項目ごとに分類して示している。</p>	
<p>総括</p>	<p>○教材と道徳ノートの2冊構成になっている。教材ごとに主題と「考えよう 話し合おう」を設置し、学習の道筋を示したり、学習を広げたりできるようにしている。道徳ノートは、内容項目別に構成しており、内容項目の道徳的価値についての解説を記載している。「心のしおり」では、学習の振り返りができるようにしている。スポーツ選手や偉人の生き方から学ぶ教材があり、実在の人物には人物紹介を掲載している。格言や本の紹介を掲載している。</p>	

